

大分市埋蔵文化財調査報告

2008年度

2009

大分市教育委員会

序 文

本書は、平成20年度に大分市教育委員会が実施いたしました埋蔵文化財調査の概要を収録したものです。

平成20年度は、駅周辺整備事業や区画整理事業、宅地造成事業など公共・民間の各種開発等に伴い市内25箇所で開催調査を行い、郷土の先人たちが築き上げた地域固有の特色ある歴史を今に伝える、数多くの埋蔵文化財を発見することができました。

そのなかでも、大友氏館跡は発見から10周年の節目の年にあたり、この間の発掘調査によって、およそ450年前に国際貿易都市として繁栄した豊後府内の街やその中心に築かれた戦国大名大友氏の館のようすが次第に明らかとなってきました。

本市教育委員会では、国の指定を受けました大友氏遺跡の保護・保存と活用を図るため、地元の皆様のご協力をいただき、史跡の確認調査や追加指定・公有化を進めているところでございます。

また、4月には元町地区に大友氏遺跡体験学習館を開設し、大友氏遺跡の最新の発掘情報や東南アジア諸国との交易で栄えた南蛮都市・豊後府内のようすを楽しく学べる歴史教室として市民の皆様に活用いただいているところでございます。

今後とも大友氏遺跡をはじめ、市内の埋蔵文化財を活かしながら、大分の歴史と文化について身近にふれあえる個性的で魅力あふれるまちづくりを推進するとともに、本市の教育・文化の振興と普及に努めて参ります。

平成21年12月28日

大分市教育委員会

教育長 足 立 一 馬

例 言

1. 本書は、大分市域において大分市教育委員会が平成20年4月1日～平成21年3月31日の間に行った埋蔵文化財に関する事業内容についてまとめた報告書である。
2. 平成20年度における調査地点は、第2図に示している。
3. 本書の執筆は、各調査担当者が分担して行い、文末に執筆者名を記している。
4. 第3章の受贈図書一覧は、平成20年4月1日～平成21年3月31日の間に大分市教育委員会文化財課に受贈された書籍等を掲載した。なお、受贈図書一覧の作成は、羽田野裕之（大分市教育委員会文化財課嘱託）による。
5. 本書に掲載された遺跡調査の資料整理は、調査担当者をはじめ、下記の大分市教育委員会嘱託が行ったものである。

井口あけみ、佐藤孝則、廣瀬育子、山下朋紀、鍋島千恵子、倉増美千代、松本晴美、木村藍子、小野千恵美、
稗田智美、佐藤良子、小島 愛
6. 本文中に掲載した現場写真は、各調査担当者が撮影したものである。
7. 本書の編集・構成は、塩地および各調査担当者が行った。
8. 出土遺物および調査の記録・資料は大分市教育委員会文化財資料室に保管している。
9. 大友氏関連遺跡の調査・名称については、その構成要素である町屋部分を「中世大友府内町跡」とし、この範囲に含まれる「大友氏館跡」ならびに「旧万寿寺地区」は、個別に調査次数を付する。
10. 本書中第2章で使用した調査地点位置図のうち、特に断りのないものは、大分市都市計画図（1/10000）である。

本文目次

第1章 大分市教育委員会教育部文化財課概要 … 1	2 分布調査の成果報告 …… 24
1 沿革 …… 1	丹生庄の調査 …… 24
2 組織 …… 1	
3 大分市文化財保護審議会 …… 2	3 埋蔵文化財の概要 …… 25
第2章 埋蔵文化財調査の概要報告 …… 3	(1) 埋蔵文化財調査報告書の成果概要 … 25
1 発掘調査の成果概要 …… 3	『丹生川坂ノ市条里跡 丹生遺跡』 25
大道遺跡群第25次・26次調査 …… 7	『府内城・城下町跡6』 …… 25
大道遺跡群第27次・28次・29次 ・30次調査 …… 7	『大友府内13』 …… 25
大友氏館跡第21次調査 …… 8	『宮苑井ノ口遺跡第5次調査』 …… 25
中世大友府内町跡第82次調査 …… 9	『大友府内14』 …… 25
中世大友府内町跡第83次調査 …… 11	『大道遺跡群2』 …… 25
中世大友府内町跡第83-2次調査 … 11	『下郡遺跡群VII』 …… 25
中世大友府内町跡第84次調査 …… 12	『府内城・城下町跡7』 …… 25
旧万寿寺跡第5次調査 …… 12	『米竹遺跡第3次調査』 …… 25
葛木遺跡第5次調査 …… 13	『木ノ上・田原地区の墳墓群』 …… 25
羽田遺跡第3次調査 …… 17	『横尾遺跡2』 …… 25
横尾遺跡第133次調査 …… 17	(2) 教育普及活動の成果概要 …… 25
横尾遺跡第134次調査 …… 18	海部古墳資料館特別展 …… 25
横尾遺跡第135次調査 …… 18	文化財だよりの発行 …… 26
横尾遺跡第136次・137次・138次調査 … 19	旅する長崎学連携講座 …… 26
横尾遺跡第139次調査 …… 19	大友氏遺跡フェスタ2008大友氏館跡 発掘調査10周年記念シンポジウム … 27
城原・里遺跡第12次調査 …… 21	写真パネル展 …… 27
大將軍古墳 …… 21	「大友氏館跡周辺の今、むかし」 横尾遺跡 弥生のムラ ウォーキング … 28
千代丸古墳・宮苑遺跡第2次調査 … 22	大友氏館跡現地説明会 …… 28
宮苑井ノ口遺跡第5次調査 …… 23	大友氏遺跡体験学習館 …… 29
米竹遺跡第3次調査 …… 23	
	第3章 受贈図書目録 …… 30

挿 図 目 次

第1図	地域区分図
第2図	調査遺跡位置図
第3図	調査地点位置図
第4図	第28次古代の大溝跡（西から）
第5図	第25次古代の流路跡（北から）
第6図	調査地点位置図
第7図	調査区北東部調査状況（上が北）
第8図	調査地点位置図
第9図	調査区北東部遺構検出状況（北から）
第10図	出土遺物実測図（1/4）
第11図	調査区遺構配置図（1/100）
第12図	調査区東壁土層断面図（1/40）
第13図	遺構配置図（1/100）
第13図	調査地点位置図
第14図	83次調査区全景（上が北）
第15図	83-2次調査区全景（西から）
第16図	遺構配置図（1/100）
第17図	調査地点位置図
第18図	調査地点位置図
第19図	万5-2区 SX150堆積状況（北西から）
第20図	これまでの葛木遺跡調査区位置図 と周辺地形図（1/5,000）
第21図	葛木遺跡第5次調査遺構配置図（1/200） とSD2断面図（1/40）
第22図	竪穴建物跡実測図（1/60）
第23図	葛木遺跡第5次調査出土遺物実測図（1/3）
第23図	万4SX150南端土層堆積状況（北西から）
第24図	調査区近景（西から）
第25図	SH01完掘状況（北から）
第26図	調査地点位置図
第27図	調査区周辺（上が東）
第28図	調査地点位置図
第29図	調査地点位置図
第30図	調査区近景（上が東）
第31図	調査地点位置図
第32図	第137次調査区全景（上が北）
第33図	調査地点位置図
第34図	調査地点位置図
第35図	環濠（北から）
第36図	大型柱穴遺構（北から）

第37図	調査地点位置図
第38図	1区建物調査状況（南東から）
第39図	調査地点位置図
第40図	調査地点位置図
第41図	調査区全景合成写真（上が北）
第42図	調査地点位置図
第43図	調査地点位置図
第44図	調査区近景（南東から）
第45図	無縫塔竿片位置と周辺図（1/2,500）
第46図	丹生庄の調査 遺物実測図 （1〜4は1/3・5は1/6）
第47図	展示のようす
第48図	文化財だより2008年度版の内容
第49図	公開講座①のようす
第50図	公開講座②のようす
第51図	シンポジウムのようす
第52図	会場入口のようす
第53図	写真パネル展のようす
第54図	ウォーキングのようす
第55図	案内図の内容
第56図	解説シートの内容
第57図	遺跡解説のようす
第58図	出土遺物解説のようす
第59図	施設外観
第60図	体験学習のようす

表 目 次

第1表	大分市平成20年度発掘調査地一覧
第2表	大分市平成20年度試掘・確認調査・立会調査地一覧

第1章

大分市教育委員会教育部文化財課概要

1. 沿革

昭和51年4月1日	大分市教育委員会社会教育課内に文化財係を設置
昭和59年6月28日	大分市教育委員会社会教育課文化財係を大分市教育委員会社会教育課文化財室に改組
平成5年4月1日	大分市教育委員会文化振興課文化財室に改組
平成10年4月1日	大分市教育委員会生涯学習課文化財室に改組
平成12年4月1日	大分市教育委員会文化財課に改組
平成13年4月1日	大分市教育委員会教育総務部文化財課に改組
平成21年4月1日	大分市教育委員会教育部文化財課に改組

2. 組織

次長兼課長	玉永光洋	大分市歴史資料館
参事	岩田祐治	参事兼館長 讃岐和夫
課長補佐兼文化財調査担当	塔鼻光司	課長補佐兼副館長 久多羅岐 明
主幹兼文化財普及担当	後藤典幸	武富雅宣 (平成21年4月～)
管理係	課長補佐兼係長 福田誠一	副館長 後藤典幸 (～平成21年3月)
主査	幸 俊昭 (～平成21年6月)	主査 広岡道代 安部幹夫
	筒井和信 桑原 治 渡辺政雄 (平成21年7月～)	指導主事 伊 斐 猛 姫野公徳 (平成21年4月～)
	栗田博之 (平成21年4月～)	研修教諭 由良一郎
	神崎小由美 (平成21年7月～)	主任 中西武尚 (平成21年4月～)
指導主事	植木和美	嘱託 古瀬美鈴 大平直子
	姫野公徳 (～平成21年3月)	細井雅希 阿南希依
主任	竹中智美	北原洋之 安部和広
	加藤キヌ (～平成21年6月)	高昌葉月
	宮崎 勲 山上洋二郎 麻生重徳	
文化財係長	坪根伸也 (平成21年4月～)	
専門員	池邊千太郎	
	高 晶 豊 河野史郎 塩地潤一 (平成21年4月～)	
主任	永松正大 佐藤道文 (平成21年4月～)	
	中西武尚 (～平成21年3月)	
主事	五十川雄也 長 直信	
	古川 匠 (平成21年3月退職)	
	石川ゆかり (平成21年4月～)	
嘱託	井口あけみ 稗田智美 奥村義貴	
	佐藤孝則 三嶋桂司 羽田野裕之	
	山下朋紀 上原翔平 仲町憲治	
	廣瀬育子 鍋島千恵子 松本晴美	
	木村藍子 小野千恵美 佐藤良子	
	小島 愛 姫野久恵 倉増美千代	

3. 大分市教育委員会事務局組織規則（抜粋）

文化財課

- (1) 文化財の調査、保存及び整備に関すること。
- (2) 文化財保護思想の普及啓発に関すること。
- (3) 文化財保護審議会に関すること。
- (4) 歴史資料館、海部古墳資料館、毛利空桑記念館、池見家住宅その他文化財施設の管理に関すること。

1. 大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会委員（平成18年4月1日現在）

氏名	勤務先	担当
北 野 隆	熊本大学・名誉教授（会長）	建造物
豊 田 寛 三	大分大学・教授（副会長）	近世
下 村 智	別府大学・教授	考古埋蔵
西別府 元 日	広島大学・教授	古代
鹿 毛 敏 夫	新居浜工業専門学校・准教授	中世
宗 像 健 一	大分市美術館・顧問	美術
吉 田 稔	大分生物談話会会長	植物
渡 部 文 雄	別府大学・教授	工芸
段 上 達 雄	別府大学・教授	民俗
渡 部 ひろ美	大分県立三重総合高等学校・教諭	動物

大分市文化財保護審議会条例（平成11年12月15日条例第42号）

（設置）

第1条 文化財保護法（昭和25年法律第214号）第190条第1項の規程に基づき、大分市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に大分市文化財保護審議会（以下「審議会」という）を置く。（平17条例13・一部改正）

（組織）

第2条 審議会は、委員10人以内をもって組織し、学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。

（任期）

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の在任期間とする。

（会長及び副会長）

第4条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選出する。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 審議会の会議（以下「会議」という。）は会長が召集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

3 会議の議事は、出席議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明、又は意見を聴くことができる。

（部会）

第6条 審議会に、教育委員会規則の定めるところにより、部会を置くことができる。

（庶務）

第7条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

（委任）

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附則

（施行期日）

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

（大分市文化財調査委員会条例の廃止）

2 大分市文化財調査委員会条例（昭和51年大分市条例第4号）は廃止する。

附則（平成17年条例第13号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

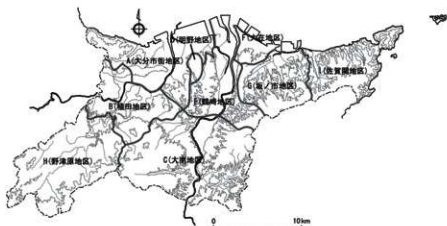
第2章

埋蔵文化財調査の概要報告

1. 発掘調査の成果概要

平成20年度に行った発掘調査件数は90件であった。内、本調査は26件、確認調査は34件、立会調査は30件であった。(第1表)

試掘・確認調査については、確認調査34件の調査件数の中で遺跡が確認されたのは18件であり、調査件数全体の約53%にあたる。更に、これらの中で協議の結果、工法変更などができずに本調査へと移行したものは5件あり、全体の約15%となっている。



第1図 地域区分図

以下に、平成20年度に行われた本調査の成果を時代別に概観していく。

(旧石器・縄文時代)

旧石器時代の遺跡は、横尾遺跡133次調査と136次調査の2地点で確認されている。133次調査では、流紋岩による集石遺構が検出されており、剥片の接合関係などからこの地で石器製作が行われていた可能性が考えられる。

縄文時代の遺跡は、羽田遺跡5次調査において縄文後期の包含層を確認するのみであったが、沖積低地の形成過程を知る上で貴重な発見となっている。

(弥生時代)

弥生時代の遺跡は、大道遺跡群30次調査、葛木遺跡2次調査、横尾遺跡134次・135次・139次調査、宮苑・井ノ口遺跡5次調査、米竹遺跡3次調査の5遺跡、7地点で確認されている。

葛木遺跡2次調査では、竪穴住居を6基検出し、その切り合い関係から少なくとも2時期にわたり集落が展開する可能性がある。それに伴って検出された溝跡は、集落を区画する溝であると考えられる。また、同じ鶴崎台地上に位置する米竹遺跡3次調査でも、中期を主体とする貯蔵穴や竪穴住居など弥生時代の集落を確認している。これらの調査は、鶴崎台地上の弥生時代における土地利用の変遷を追う上で重要な成果となっている。

横尾遺跡134次調査では、弥生時代終末期～古墳時代初めに埋没した環濠跡と櫓列を検出しており、環濠跡からは大量の土器と共に青銅製の銅戈や銅鏃などを出土している。この遺構は、調査地の南側で発見された集落跡の北限を限る環濠であると考えられ、当時の集落規模を確定する手掛かりを得た。

今年度は、弥生集落の土地利用や変遷の解明につながる成果が多く挙げられた。今後は、周辺地域との比較によってより詳細な成果の積み上げが必要であると考えられる。

(古墳時代)

古墳時代の遺跡は、大道遺跡群25次～30次調査、羽田遺跡5次調査、横尾遺跡134次・139次調査、千代丸古墳・宮苑遺跡2次調査、宮苑・井ノ口遺跡5次調査、大將軍古墳の6遺跡、12地点で確認されている。

大道遺跡群では、住居跡・井戸跡・溝状遺構など当地域において集落の展開状況を知る上で貴重な成果を上げている。横尾遺跡139次調査では、北側にカマドを付設する竈穴住居を検出している。ここではカマド廃棄にともなう祭祀が行われたと考えられ、集落内で行われた祭祀の側面を伺い知ることができる。

昨年度より引き続き行われた千代丸古墳・宮苑遺跡2次調査では、調査成果から少なくとも東西墳丘25m以上の円墳ないし、方墳である可能性を示した。また、今回は石室内を3Dレーザー実測及び図化を行っている。

その結果、千代丸古墳が古い段階の終末期横穴式石室であるとの評価が得られた。このデータの今後の活用が期待される。

(古代)

古代の遺構は、大道遺跡群25次～29次調査、横尾遺跡135次～137次・139次調査、城原・里遺跡12次調査の3遺跡10地点で確認されている。

大道遺跡群28次では、周辺で検出された一線に延びる大溝が水路の機能を持っている可能性が指摘された。横尾137次調査では、周辺調査から続く道路状遺構を検出している。こうした古代の遺構は横尾遺跡全体に見られ、広域に展開する遺構群であると考えられる。

平成15年度より継続して調査が行われている城原・里遺跡では、7世紀末～8世紀初頭に比定される掘立柱建物2基と総柱掘立柱建物2基を検出している。このことから、調査区北西隅にも遺構が展開する状況が確認された。また、総柱掘立柱建物を2基検出したことにより、これまで検出している総柱掘立柱建物を含め、南北に連なる6棟の倉庫状建物を検出したことになり、遺跡の評価を考える上で注目される。

(中世)

中世の遺跡は、大友氏館跡21次調査、中世大友府内跡82～84次調査、旧万寿寺跡5次調査、羽田遺跡5次調査、横尾遺跡133・134・138・139次調査の5遺跡10地点で確認されている。

大友氏館跡21次調査では、館の東外郭推定ラインよりやや内側（西側）にあたる地点で16世紀前半～中頃に比定される備前大裏埋設遺構を検出する。性格などは不明であるが、館の東側における空間利用に関する発見となった。

今後は、この発見から得られた知見から館が最盛期を迎える16世紀後半の地形復元を含めた館の機能の検証が期待される。

旧万寿寺跡5次調査では、前年度に確認された掘り込み地業の範囲を確定したが、規模がやや狭く、再考が求められている。

中世大友府内町の調査は、今年度は3地点で行われており、それぞれ町の状況を解明する成果を上げている。町82次調査では、周辺調査地である町4次調査で確認された東西道路の延長部分を確認することができたが、想定されていた南北道路は確認されず、復元想定図で考えられている地点よりも西側に展開すると思われる。

町83次調査では、万寿寺より南に延びる道路状遺構とその両側に平行して並べられた一条の石列遺構を検出している。また、この遺構に伴う町屋域（今道町）が同時に検出されており、一連の遺構から町屋の情景復元が試みられている。今後は、町屋の性格・形成時期などの解明が課題となる。

そして、町84次調査においては、廃棄土坑が多く検出され、一部には鍛冶関連遺物を廃棄した土坑も検出されている。このことから、当地は町屋の裏手にあたる廃棄空間が想定される。加えて、調査区内で推定「第一南北街路」に直行する溝状遺構を確認している。この溝は、町屋を区画する溝の可能性が指摘されており、注目される。

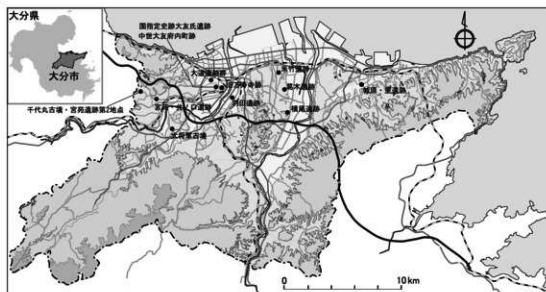
横尾遺跡134次調査では、四面に庇がつく可能性のある掘立柱建物を検出し、その北側で東西方向の溝状遺構を検出している。そして、両者を繋ぐように櫓列が検出されており、これらは一連の施設と捉えられ、今後は景

観を含めた機能復元を考えていく必要がある。

(近世)

今年度は府内城・城下町の調査は行われておらず、近世の遺跡は横尾遺跡135次・136次・139次調査の3地点で確認されたのみである。136次調査では、現況道路の下から現在に踏襲される道路状遺構を確認している。

(上原)



第2図 調査遺跡位置図

第1表 大分市平成20年度発掘調査地一覧

番号	遺跡名	調査 回数	所在地	調査担当	調査 面積(m ²)	調査期間	種別	事業内容
1	大道遺跡群	25次	大分市金池一丁目	中西	合計	080522~080804	公共事業	駅南区画整理事業
2	大道遺跡群	26次	大分市金池一丁目	中西	710	080522~080805	公共事業	駅南区画整理事業
3	大道遺跡群	27次	大分市金池一丁目	中西 五十川	合計	080901~090313	公共事業	駅南区画整理事業
4	大道遺跡群	28次	大分市金池一丁目	中西 五十川	5800	080901~090313	公共事業	駅南区画整理事業
5	大道遺跡群	29次	大分市金池一丁目	中西 五十川		080901~090313	公共事業	駅南区画整理事業
6	大道遺跡群	30次	大分市金池二丁目	古川	645	090128~090313	公共事業	駅南区画整理事業
7	大友氏館跡	21次	大分市雲徳町	長	523	080526~080826	国庫補助事業	確認調査
8	中世大友府内町跡	82次	大分市錦町	古川 上原	61.3	080820~080826	国庫補助事業	集合住宅
9	中世大友府内町跡	83次	大分市大字大分字北前田	古川 奥村	200	081020~081205	民間開発	店舗建設
10	中世大友府内町跡	84次	大分市錦町三丁目	永松 三嶋 上原	36.25	081030~081121	民間開発	住宅併用病院建設
11	中世大友府内町跡	83・2次	大分市大字大分字北前田	河野	25	090305~090318	民間開発	店舗建設
12	旧万寿寺跡	5次	大分市大字大分字上井東	長	185	080812~080912	国庫補助事業	確認調査
13	葛木遺跡	2次	大分市大字葛木字中庚	五十川 長	200	080922~080925	民間開発	宅地造成
14	羽田遺跡	5次	大分市羽田	五十川 長	574.5	090113~090313	公共事業	都市計画道路築造事業
15	横尾遺跡	133次	大分市大字横尾	塩地	1176	080710~080828	公共事業	横尾区画整理事業
16	横尾遺跡	134次	大分市大字横尾	塩地	1045.2	080820~090327	公共事業	横尾区画整理事業
17	横尾遺跡	135次	大分市大字横尾	永松	1269.5	080805~081006	公共事業	横尾区画整理事業
18	横尾遺跡	136次	大分市大字横尾	塩地 永松	合計	081110~090313	公共事業	横尾区画整理事業
19	横尾遺跡	137次	大分市大字横尾	塩地 永松	3569	081110~090313	公共事業	横尾区画整理事業
20	横尾遺跡	138次	大分市大字横尾	塩地 永松		081110~090313	公共事業	横尾区画整理事業
21	横尾遺跡	139次	大分市大字横尾	塩地 永松		081110~090313	公共事業	横尾区画整理事業
22	城原・里遺跡	12次	大分市里	長	115.4	081203~081226	国庫補助事業	確認調査
23	千代丸古墳・宮苑遺跡	2次	大分市大字宮苑字千代丸	古川	76	081101~081101	国庫補助事業	確認調査
24	宮苑・井ノ口遺跡	2次	大分市大字宮苑字井ノ口	古川	202	080502~080708	民間開発	集合住宅
25	米竹遺跡	5次	大分市大字小池原字米竹	五十川	140	080609~080620	民間開発	集合住宅
26	大得軍古墳		大分市大字木ノ上字高栗	佐藤(通)	64	080604~080604	民間開発	宅地造成

第2表 大分市平成20年度試掘・確認調査・立会調査地一覧

番号	種別	遺跡名	所在地	調査面積(m ²)	調査期間	調査原因
1	確認(公共)	葛木遺跡	大分市猪野74(明治小学校)	20	08.04.15	学校施設
2	確認(公共)	米竹遺跡	大分市千歳地先	28	08.04.18	その他(下水道工事)
3	立会(公共)	米竹遺跡	大分市大字千歳地先	28	08.04.18-08.06.04	個人住宅建設
4	確認(民間)	猪野遺跡	大分市大字猪野字西太郎塚1588-1 1588-2 1599-1	21	08.04.21	共同住宅
5	確認(公共)	辻遺跡	大分市大字辻654(吉野小学校)	10	08.04.25	学校建設
6	確認(公共)	羽田遺跡	大分市羽田518	21	08.04.30	その他建物(公民館)
7	確認(民間)	鶴崎町遺跡群	大分市南鶴崎3丁目65~69番	40	08.05.14	共同住宅
8	立会(公共)	古国府遺跡群	大分市大字永興南太平寺1-3組139-1地先	6	08.05.15	その他(下水道工事)
9	確認(民間)	米竹遺跡	大分市大字小池原字米竹243番の一部	38.4	08.05.20	共同住宅
10	確認(民間)	中世大友府内町跡	大分市錦町1丁目3293番	12	08.05.22	共同住宅
11	確認(民間)	中世大友府内町跡	大分市錦町1丁目3440番1 3443番1	20.8	08.05.22	宅地造成
12	立会(民間)	上松岡遺跡	大分市大字松岡4882-2、4 4883-4 4868-4、9	64	08.05.26	宅地造成
13	確認(民間)	古国府遺跡群	大分市大字羽屋字七曾司172番8	12	08.05.28	個人住宅
14	立会(民間)	玉沢地区条里跡	大分市稲田新町心 中央土地区画整理事業地内6街区1、2-1、2-3	8	08.05.28	共同住宅
15	立会(民間)	北の崎遺跡	大分市大字葛木字直道975番	6	08.06.10	個人宅浄化槽
16	確認(公共)	横尾遺跡	大分市横尾2834-4	36	08.06.13	学校建設
17	確認(民間)	猪野遺跡	大分市大字猪野字仲原1234番11235番1 栗流668番2	20.5	08.06.16	共同住宅
18	確認(民間)	東田室遺跡	大分市田室町213-8	20	08.06.26	店舗(診療所)
19	確認(公共)	羽田遺跡	大分市大字羽田1034番地3外7層	82	08.07.03	その他(道路)
20	立会(民間)	一本遺跡	大分市大字一本字中野982番3 1003番2	2.5	08.07.07	個人住宅(浄化槽)
21	確認(民間)	政所遺跡	大分市大字横田二丁目319番2 320番2 321番	20	08.07.17	共同住宅
22	立会(民間)	中世大友府内町跡	大分市金池町4丁目1489番10	2.25	08.07.23	個人住宅(浄化槽)
23	確認(公共)	羽田遺跡	大分市大字羽田349番地	6	08.08.07	学校建設
24	確認(民間)	下志村遺跡	大分市花江川186	128.22	08.08.07	集合住宅
25	確認(民間)	政所遺跡	大分市政所2丁目218番 219番	12	08.08.08	集合住宅
26	確認(公共)	大道多里跡	大分市大道2-9-57(大道小学校内)	46	08.08.19~20	学校建設
52	確認(民間)	下郡遺跡群	大分市下郡南五丁目864番1 865番1 867番1	16.5	08.08.21	集合住宅
27	確認(民間)	米竹遺跡	大分市大字小池原字仲原38-3	30	08.08.25	個人住宅
28	立会(民間)	宮崎遺跡	大分市大字宮崎字五反田 835-1 867-1・16~18 888-1~5	8	08.08.28	店舗
29	立会(民間)	米竹遺跡	大分市大字小池原野地前27-10	2.2	08.08.29	個人住宅
30	立会(公共)	羽田遺跡	大分市大字羽田字ノ木559番1・25	10	08.09.08	その他建物(公民館)
31	確認(民間)	古国府遺跡群	大分市大字羽屋字七曾司171番1	43	08.09.12	集合住宅
32	確認(公共)	羽田遺跡	大分市羽田938-1	71	08.09.16~17	その他(道路)
33	確認(公共)	浜中遺跡	大分市恵比寿町190	17	08.09.22	公園造成
34	確認(民間)	宮苑井ノ口遺跡	大分市賀来西土地区画整理B-1・3-1	56	08.09.24	店舗
35	確認(民間)	中世大友府内町跡	大分市大友坊北4485-1 4485-3 4485-4	6	08.10.03	その他
36	立会(民間)	下郡遺跡群	大分市下郡南二丁目5番18号	4	08.10.07	個人住宅(浄化槽)
37	確認(民間)	横尾遺跡	大分市横尾土地区画整理事業B-7①の一部	29	08.10.15	集合住宅
38	立会(民間)	羽田遺跡	大分市大字羽田字ノ木591-3 591-7	3.38	08.10.20	個人住宅
39	立会(公共)	佐柳遺跡	大分市大字中戸次1574番地の1地先	6	08.11.10	その他(下水道工事)
40	立会(民間)	古国府遺跡群	大分市奥田字敷添629番3	6	08.11.12	個人住宅(浄化槽)
41	立会(民間)	永興遺跡	大分市大字永興字門前261番	6	08.11.13	個人住宅(浄化槽)
42	立会(民間)	下郡遺跡群	大分市下郡南1丁目198番199番208番	8	08.11.25	店舗(合併浄化槽)
43	立会(民間)	勢家遺跡	大分市勢家町4丁目849-4・5 849-2	4	08.11.28	店舗
44	確認(民間)	古国府遺跡群	大分市大字古国府字石橋422番1	12	08.12.01	集合住宅
45	確認(民間)	牧遺跡	大分市牧1丁目294番	8	08.12.10	集合住宅
46	確認(民間)	丹生遺跡	大分市大字丹生字長沼1743番の1他17	40	08.12.11~12	その他(牛舎建設)
47	立会(民間)	横尾遺跡	大分市横尾字ノ原305番1 ほか9番	12	08.12.12	宅地造成
48	立会(民間)	古国府遺跡群	大分市大字奥田字尻橋844-3 844-9 843-7	8	08.12.16	集合住宅(浄化槽)
49	確認(民間)	羽田遺跡	大分市大字羽田字ノ木592番1・2	4	08.12.24	共同住宅
50	確認(民間)	葛木遺跡	大分市大字葛木281番1	20	09.01.23	集合住宅
53	確認(公共)	横尾遺跡	大分市大字横尾2772-2	28	09.01.28	道路
54	立会(民間)	玉沢地区条里跡	大分市大字木上字小柳405-3	8	09.01.29	個人住宅(浄化槽)
51	立会(民間)	下郡遺跡群	大分市下郡南2丁目132番	6	09.02.03	個人住宅(浄化槽)
55	確認(民間)	二目川遺跡	大分市大字横尾字3818番1の一部、3818番2	16	09.02.06	集合住宅
56	立会(民間)	宮苑井ノ口遺跡	大分市賀来西土地区画整理事業区域A-10街区5.6.7	8	09.02.13	その他建物
57	確認(民間)	葛木遺跡	大分市大字葛木字南原361番1 362番2の一部 363番 1365番2	24	09.02.26	集合住宅
63	立会(民間)	浜中遺跡	大分市大字久見2-650	6	09.03.02	集合住宅
58	確認(民間)	下郡遺跡群	大分市下郡南3丁目223番224番225番	12	09.03.05	店舗
59	確認(民間)	津守遺跡	大分市大字津守字後ノ宮237番	10	09.03.06	店舗
62	確認(公共)	府内城・城下町	大分市末広町2丁目(小鹿公園内)	13.09	09.03.11~12	道路
60	立会(民間)	玉沢地区条里跡	大分市大字戸口字土井ノ元541番2 541番3	6	09.03.24	個人住宅(浄化槽)
61	立会(民間)	羽田遺跡	大分市大字片島字前田1015-5	6	09.03.25	個人住宅(浄化槽)
64	立会(民間)	羽田遺跡	大分市大字羽田字ノ木920番1	6	09.03.30	個人住宅(浄化槽)

I 大道遺跡群第25次・26次調査

調査面積 710㎡
地域 A

調査期間 08.05.22～08.08.04
調査担当 中西武尚

調査地は、JR大分駅の南側に位置し、上野台地北側の沖積低地にあたる。当該地一帯には、古代の条里状地割の存在が指摘されており、その阡線は約35度東偏している。東西方向に近接する第25次調査と第26次調査では、古墳時代の溝状遺構をはじめ、古代の流路跡や中世前半期の方形溜井状遺構などが確認されている。そのなかでも、古代の流路跡はその方向が条里状地割の阡線と異なるものであり、条里状地割の形成時期や往時の土地利用を解明する上で注目される成果である。（塩地）



第3図 調査地点位置図

II 大道遺跡群第27次・28次・29次・30次調査

調査面積 5800㎡・645㎡
地域 A

調査期間 08.09.01～09.03.16
調査担当 中西武尚・五十川雄也・古川 匠

調査地は、JR大分駅の南側に位置し、上野台地北側の沖積低地にあたる。当該地一帯には、古代の条里状地割の存在が指摘されており、その阡線は約35度東偏している。また、既往の調査成果より古墳時代や古代の集落が形成された微高地が復原されている地点である。南北方向に近接する上記4箇所の調査では、弥生時代中期頃の土坑や同後期中葉頃の竪穴住居跡をはじめ、古墳時代前期の住居跡や井戸跡、そして古代の大溝跡や掘立柱建物跡などが確認されている。そのなかでも、古代の大溝跡はその規模や出土遺物から特筆される。現時点で長さ約170mにわたりまっすぐ延びる極めて規格性の高い遺構で、水路として機能していたようである。その方向は、条里状地割の阡線と異なり、人為的な施設であることを踏まえれば、条里状地割の形成は古代ではない可能性が高い。

また、弥生時代の遺構の存在は、微高地上に弥生時代から継続的に集落が形成されたことを示唆するもので、その周辺に想定される沼沢域において、水田をはじめとした遺構の存在が期待される成果である。（塩地）



第4図 第28次古代の大溝跡（西から）



第5図 第25次古代の流路跡（北から）

Ⅲ 大友氏館跡第21次調査

調査面積 532㎡
地域 A

調査期間 08.05.26～08.08.26
調査担当 長 直信

第21次調査は 大友氏館跡の中央部東端にあたる東西に長い地割り2つ分をまたぐ位置に所在する。今回の調査では①16世紀中頃から後半の遺構の展開、②15・16世紀の整地の展開と旧地形の復元、③15世紀の遺構の展開、④16世紀末以降の遺構の展開の4点を調査目的とした。結果として、①16世紀前半～中頃の備前焼大甕埋設遺構である館21SX220を検出。遺構の性格は不明だが、16世紀前半～中頃の空間利用の具体相を知るうえで重要な成果といえる。②16世紀後半の焼土堆積遺構である館21SX105を館21SX220上面で検出。青磁器台や酒海壺、青花梅瓶などの唐物威信財とよばれる器種が複数出土した他、鉄釘・青銅製の三祐所型の目貫金具などの青銅製品、銅銭など、これまでの調査では僅かにしか出土していない遺物がまとまって出土している。大友館が焼亡した天正14年（1586）の戦災後、館東端が町屋化した際の片付けに関わる遺構の可能性がある。なお、調査区東端は、16世紀末の大型遺構（館21SX100・館21SX045）が調査区外へ伸びており、館の外郭となるような遺構は検出できなかった。ただし、当地はこれまでの館の調査と比較して瓦の出土が集中する地点であり、付近に瓦を用いた遺構（館の門構造に関連か？）の展開が想定される。また、調査区内では帰属時期不明の礎石群や、館21SX220や館21SX105を除いて、16世紀後半の遺構は確認できなかったことから、調査区は、大形廃棄土坑や深い溝（「廃棄空間」や「区画」を明示する遺構）などは展開しておらず、「礎石の建物」が展開していた」もしくは「空間地であった」可能性がある。③館中心部より広がる15世紀代の整地層を確認。また、15世紀代の掘立柱建物を複数検出。館中心部から東側にかけて面的な整地を行い、その整地に付随して礎盤石を使った掘立柱建物が規格性をもって展開することを追認する結果となった。④16世紀末の廃棄土坑や道路状の遺構を検出。これらの遺構からは一定量の瓦が出土した。12次調査同様、館の東端の一部は、第2南北街路より西に40m付近まで町屋的な遺構が展開したことが判明。また、21次調査の50m北側にある15次調査では第2南北街路より西に約60m、館北側外郭ラインより南に約60m付近でこの時期の井戸が形成されており、館東側の町屋城の西限がほぼ確定したこととなる。（長 直信）



第6図 調査地点位置図



第7図 調査区北東部調査状況(上が北)

IV 中世大友府内町跡第82次調査

調査面積	63.1㎡	調査期間	08.08.20～08.08.26
地域	A	調査担当	古川 匠・上原翔平

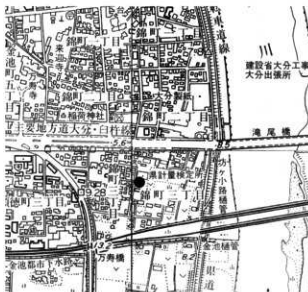
調査区は、中世大友府内町跡における名ヶ小路町に位置し、従来の調査成果と明治時代の地刺から大友氏館の北側を通る東西道路とそれに伴う町屋の存在が推定される地域である。調査では、部分的に旧建物の基礎によって破壊されているものの、地表より約0.9m下（標高4.50m）で道路状遺構とそれと並行に走る16世紀後半頃の溝状遺構（SD005）を検出している。

なお、当調査は遺構の確認が主であり、多数のピットを検出しているが、完掘には至っていない。

道路状遺構は、調査区の南側で東西方向に横断し、道路推定ラインに沿って検出された。道幅は、南端が調査区外まで伸びているために不明であるが、調査区内では最大5.4mまで測ることができる。出土遺物は、道路構築層より16世紀前半頃に比定される土師器皿が出土している。溝状遺構（SD005）は、道路状遺構より上位において並行して検出されている。幅は約0.6mで埋土には焼土や炭化物が含まれる。土坑（SX010）は、道路状遺構より下位で検出され、直径は約1.0mを測る。出土遺物は、15世紀後半頃に比定される土師器皿を出している。

このことから、溝状遺構（SD005）は、道路状遺構北端の側溝と考えられ、道路状遺構は15世紀後葉以降に敷設され、16世紀後半頃まで機能していたものと推測される。

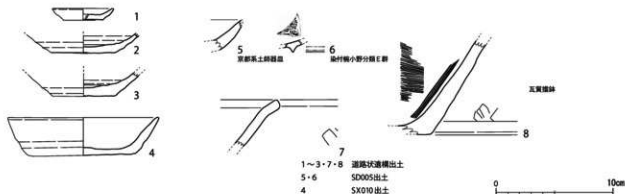
今回検出した東西道路は、調査区より東側で行われた町4次調査でも確認されている。状況としては、最下層の1期（16世紀中頃）で調査区内での検出幅2.1m、2期（16世紀後半）では5.0mとなり、3期（16世紀末）では3.5mとなる。こうした道路状遺構の変遷過程は当調査の状況と近似し、注目される。（上原・塩地）



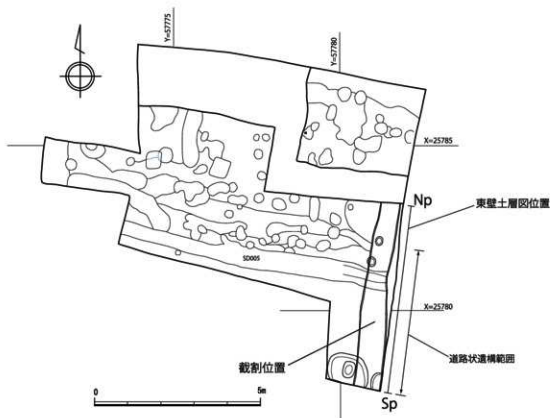
第8図 調査地点位置図



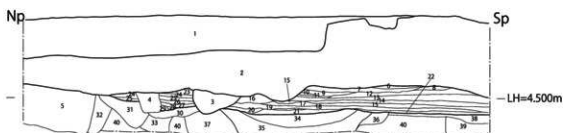
第9図 調査区北端遺構検出状況（北から）



第10図 出土遺物実測図（1／3）



第11図 遺構配置図 (1/100)



- 1.表土
- 2.客土
- 3.暗褐色シルト (SD005埋土、機土が少量に含まれる)
- 4.暗褐色粘質シルト、灰褐色極細砂が互層状に堆積
- 5.暗褐色粘質シルト (極細砂多量を含む)
- 6.灰黄色粘質シルト
- 7.暗褐色、黄褐色、細砂
- 8.灰褐色粘質シルト
- 9.暗褐色粘質シルト
- 10.暗褐色砂質シルト
- 11.暗褐色粘質シルト
- 12.灰褐色砂質シルト
13. (12より砂質強い)
- 14.暗褐色砂質シルト (13より砂質強い)
- 15.黄褐色粘質シルト
- 16.灰褐色砂質シルト
- 17.暗褐色砂質シルト
- 18.黄褐色粘質シルト
- 19.灰褐色砂質シルト
- 20.暗褐色砂質シルト
- 21.暗褐色粘質シルト
- 22.暗褐色細砂

- 23.灰褐色粘質シルト
- 24.暗褐色粘質シルト
- 25.黄褐色粘質シルト
- 26.暗褐色細砂
- 27.灰褐色シルト
- 28.暗褐色細砂
- 29.灰褐色粘質シルト
- 30.灰褐色シルト (炭化物少量含む)
- 31.暗褐色粘質シルト (炭化物、機土を少量含む)
- 32.暗褐色シルト
- 33.暗褐色 (炭化物やや多量含む)
- 34.灰褐色シルト (SX010埋土)
- 35.黄褐色ブロック質土 (SX010埋土)
- 36.暗褐色粘質シルト
- 37.やや強い灰褐色粘質シルト
- 38.黄褐色粘質シルト
- 39.暗褐色細砂
- 40.黄褐色シルト (やや粘質、いわゆる地山)

※SD005を伴うと推定される道路状遺構

第12図 調査区東壁土層断面図 (1/40)

V 中世大友府内町跡第83次・83-2次調査

調査面積 508㎡・25.2㎡
地域 A

調査期間 08.10.20～08.12.05 09.03.05～09.03.18
調査担当 古川 匠・河野史郎

今回の調査は店舗建設に伴うもので、中世大友府内町の東南端、「今道町」が想定される旧万寿寺の南側に取り付け第一南北街路の両側一帯が調査対象となった。事前に行われた確認調査結果をもとに、第一南北街路部分及び道路東側の町屋（背割りを含む短冊状地割りのおよそ3区画分）、同じく西側の町屋（間口付近）に調査区を設定した。

調査の結果、第一南北街路は、幅約8m、掘り込み（区画溝）を嵩上げて路面を形成するいわゆる「豊後型道路」の様相を呈するもので、その両側には護岸及び道路との境界を示す道路と平行する石列が配されていることが確認された。道路構築層の直上を、焼土混じりの堆積層（SX020）が覆っていることから、最終段階の道路の時期は16世紀第3四半期以降と推定される。

道路東側の町屋部分は、道路から直角に屈曲し、東方に延びる石列によって区画され、約30mの地点には、背割りを意識したものと考えられる南北溝が確認された。この間口が狭く奥行きのある短冊状の区画内、間口付近には東西及び南北方向の複数の柱穴列からなる居住域、中間部分には大型の廃棄土坑群が分布することが確認されている。道路西側の町屋部分は、間口付近のみの調査であったが、東側同様柱穴群が検出されている。町屋遺構の時期については、道路遺構の時期と大きく矛盾しない。

町屋及び道路の下層遺構については、遺構密度が非常に低く、性格の明確な遺構も検出されていないが、15世紀後半頃の遺物を採取している。短冊状地割り形成以前の遺構状況として注目される。

83-2次調査は、83次調査が行われた店舗建設の追加調査として行われた。調査区は、83次調査の北東約56mの地点、防火水槽設置場所に設定された。第一南北街路との位置関係では、道路より東側約9mの位置となる。

調査の結果、16世紀後半～末に位置づけられる第一南北街路に直交する東西方向に延びる道路状遺構及び関連遺構、これら遺構に切られる15世紀後半に位置づけられる土坑及び小穴群が検出された。

道路状遺構については、両側に側溝を思わせる溝又は長土坑をもち、路面幅1.5～1.8m、波板状の連続土坑を思わせる埋土に砂質土を含む不整形の土坑群が存在する。

15世紀後半に位置づけられる土坑については、2基確認されており共に土坑墓が想定されるもので、土師器小皿、青磁等が出土している。

当該地区における、時期の違いによる土地利用の明確な違いが確認された事例として注目される。（河野）



第13図 調査地点位置図



第14図 83次調査区全景（上が北）



第15図 83-2次調査区全景（西から）

VI 中世大友府内町跡第84次調査

調査面積 38.0㎡
地域 A

調査期間 08.10.30～08.11.21
調査担当 永松・三嶋・上原

推定復元想定図の「中之町」の一角にあたり、推定「第1南北街路」に面した町屋の裏手にあたる廃棄空間と推定される。

検出された遺構は、16世紀後半以降（第1面）・16世紀前半～後半（第2面）・15世紀後半（第3面）の3時期に分けられ、部分的に整地層と推定される互層堆積が確認された。

第2面で検出された東西方向に延びる溝状遺構は、推定「第1南北街路」に直行すると推定され、敷地を区画する役割が考えられる。これを境とし、南北に異なる整地が認められる。（三嶋）



第17図 調査地点位置図

VII 旧万寿寺跡第5次調査

調査面積 185㎡
地域 A

調査期間 08.08.12～08.09.12
調査担当 長 直信

調査区は万寿寺境内の推定伽藍中心軸上、万寿寺推定範囲のほぼ中央に位置する。昨年度の4次調査（以下、万4）では、大規模な掘り込み地業遺構である万4SX150を検出した。万4SX150は基壇などの構造物に関わる地業の可能性があることから、本年は万4SX150の範囲を確認するため、万4東端より5m東の位置に、東西方向のトレンチ万5-1区を、万4中央部付近を重複させる形で、南北方向のトレンチ万5-2区を設定した。調査結果として、①万4SX150の規模確認：万5-1区では万4SX150の東端は検出できず、結果「掘り込み地業状」の遺構は南北9m、東西は46m程度の範囲の遺構であることを確認。②万4SX150の下層より巨大な東西溝万5-2SD080（幅5m以上、深さ2.0m）を検出：昨年の調査では一連と考えていた万4SX150の堆積層上層と下層に不整合面が存在する事が判明。東西方向の溝と考えられる。万4SX150はSD080の堆積の窪みを再掘削し、斜めに堆積するブロック土の層群により形成されている。③万4SX150の北には16世紀後半の東西溝である万5-2SD070（幅2.5m以上、深さ1.6m）を検出：4.5m北には町23次調査で確認した15世紀の整地範囲を囲む方形区画溝を検出しており、万5SD070と15世紀代の整地万4SX150と重複することなく掘削されていることを考えると、同様の区画溝の可能性ある。④南北方向の溝状遺構万5-1SD005を検出：万5-1SD080の東側延長部である可能性があるが、深さや堆積状況などに差が大きく断定できない。⑤万5-1SD005を切る遺構である万5-1SX020としたビットより瀬戸焼水注の完形品が横転した状態で出土した。ここ2カ年の調査で万寿寺境内には予想に反して大型遺構が複数展開することが判明した。今後は、面的な確認調査を行いながら、性格を解明する必要がある。（長 直信）



第18図 調査地点位置図



第19図 万5-2区 SX150堆積状況(北西から)

VIII 葛木遺跡第5次調査

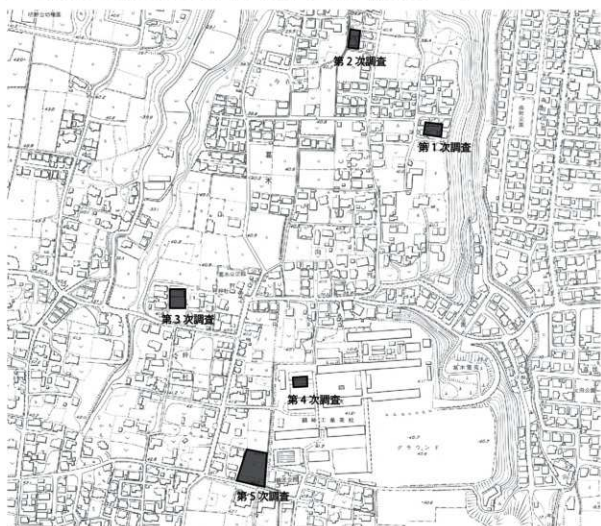
調査面積	200㎡	調査期間	08.09.22～08.09.25
地域	E	調査担当	五十川雄也

【調査に至る経緯・立地と環境・これまでの調査概要】

葛木遺跡の発掘調査は住宅地の開発に伴って行われた。平成20年9月8日付け文化財保護法第93条が有有限会社大南興産より申請され、平成20年9月9日付け市教委文第1091号-1で大分県教育委員会あて進達した。本調査は平成20年9月22日～同年9月25日で実施した。そして平成20年10月1日付け市教委文第1226号により発掘調査の終了届けが行われた。

葛木遺跡は大分川と大野・乙津川に挟まれた通称鶴崎台地に立地する。遺跡は標高約40mほどのところにあり、調査区北東部には鶴崎工業高校が近接する。

これまでの周辺調査は過去4度実施している（第20図）。第1次調査（1989年実施）は、今回調査の第5次調査区から北東へ約500mに位置している。弥生時代後期末～終末の隅丸方形竪穴建物跡や時期不明の円形や方形の竪穴建物跡、ピット群などが検出されている（註1）。第2次調査（1991年実施）は、第5次調査区から北へ約600mに位置する。弥生時代終末の方形竪穴建物跡が検出されている（註2）。第3次調査（1995年実施）は、第5次調査区から北西へ約250mに位置する。検出遺構は、古墳時代の方形竪穴建物跡（中央に地床炉）、中世の柱穴群などが検出された（註3）。第4次調査（2001年実施）は、第5次調査区から北へ約130mのところに位置する。検出遺構は弥生時代の竪穴建物跡や時期不詳の柱穴群などが検出された（註4）。このようにこれまでの葛木遺跡の発掘調査は弥生時代、古墳時代を中心とした遺構を検出している。



第20図 これまでの葛木遺跡調査区位置図と周辺地形図（1/5,000）

【調査の内容】

葛木遺跡第5次調査は、鶴崎台地の北東部に位置し、標高約42m、遺跡検出標高約40.500mである。検出遺構は円形竪穴建物跡6基（推定含む）、中世溝跡1条、ピットなどを検出した（第21図）。遺物量はコンテナ1箱であった。

竪穴建物跡（SH）

SH1（第22図）遺構は調査区ほぼ中央付近で検出した。SH4と重複関係があるが、新旧関係は不明である。平面プランはほぼ円形を呈するものと考えられ、南北軸4.3m + α 、東西軸0.9m + α 、最大深0.4mを計る。床面は土層図の第 層が貼床と思われる。建物床面南側に屋内土坑を1基検出している。さらに床面北側で柱穴2基を確認した。建物に伴うものと推定される。出土遺物はほとんど皆無であった。

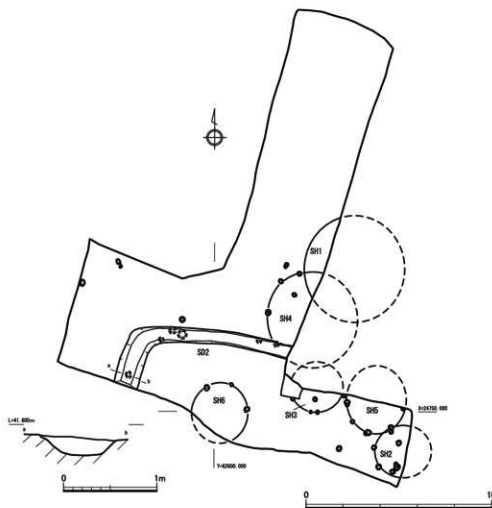
SH2（第22図）遺構は調査区南東で検出した。SH5と切り合い関係をもち、SH5を切る状況である。残存状況は不良であるが、建物を構成していたと考えられる柱穴から、平面プランは円形であったと思われる。柱穴埋土は褐灰色粘質土である。出土遺物は土器小片であった。

SH3（第22図）遺構は調査区南東部で検出した。重複関係はSH5とあるが、新旧関係は不明である。残存状況は不良であったが、建物跡を構成していたと考えられる柱穴から平面プランは円形と推定される。柱穴埋土は灰黑色粘質土である。出土土器はない。

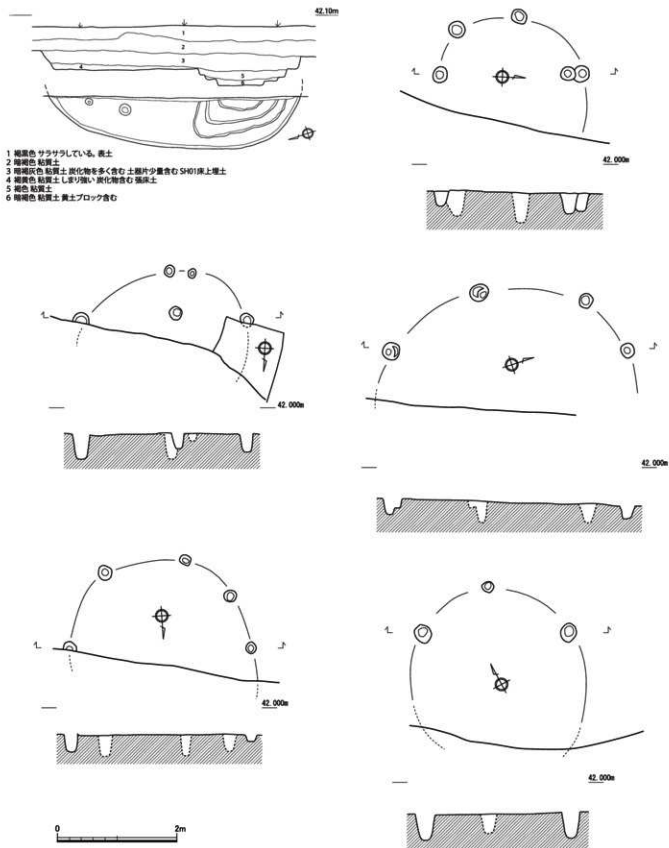
SH4（第22図）遺構は調査区ほぼ中央で検出した。重複関係はSH1とあるが、新旧関係は不明で、SD2に切られる。残存状況は不良で、建物を構成していたと考えられる柱穴から平面プランは円形を呈すると考えられる。柱穴埋土は灰黑色粘質土である。出土遺物は皆無であった。

SH5（第22図）遺構は調査区南東で検出した。重複関係はSH2・3とあり、SH2を切るが、SH3との新旧関係は不明である。残存状況は不良で、建物を構成していたと考えられる柱穴から平面プランは円形を呈していたと考えられる。柱穴埋土は灰黑色粘質土である。出土遺物はない。

SH6（第22図）遺構は調査区南側で検出した。重複関係はない。残存状況は不良で、建物を構成していたと考えられる柱穴から平面プランは円形を呈すると考えられ、柱穴埋土は褐灰色粘質土である。出土遺物はない。



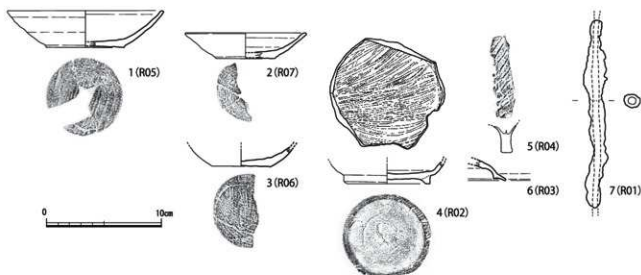
第21図 葛木遺跡第5次調査遺構配置図（1/200）とSD2断面図（1/40）



溝跡 (SD)

SD2 (第21図) 遺構は調査区南側で検出した。屈曲部を1か所もつ。南北方向で3+αm、東西方向で8+αmあり、最大深0.2mである。重複関係はSH1や複数のビットを切る。埋土は1層 (第21図参照) で、暗褐色粘質土でバサバサしている。底面は凹凸がある。出土遺物 (第23図) は、1～3で、1は土師質土器で胴部はほぼ直線的に延びる。外底は回転糸切で、板状圧痕がのこる。2・3も土師質土器で1よりは小型である。

第22図 竪穴建物跡実測図 (1/60)



第23図 葛木遺跡第5次調査出土遺物実測図（1／3）

その他の遺物（第23図）

ここでは遺構に伴わない遺物数点をあげる。4は内黒土器碗である。内面は細かなミガキ調整。外面はナデ調整。輪高台である。輪高台には板状圧痕と思われる痕跡が残る。9～10世紀の所産であろう。5は須恵器壺の高台部と思われる。胴部との貼り付け面に斜状の痕跡が残る。6は須恵器蓋坏片で、7世紀末葉～8世紀前葉の所産であろう。7は鉄製品釘の破片と指定される。

小 結

遺構は竪穴建物跡6基と溝跡1条を確認した。竪穴建物跡からは良好な遺物が出土していないため、時期比定をすることはできないが、埋土の状況や周辺の調査状況を加味すると弥生時代中後期以降と考えられる。弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴建物跡は第1次～第4次調査で確認されている。今回の第5次調査区はこれまでの第1次～第4次調査のなかで一番南に位置する調査区であり、この第5次調査で推定弥生時代の竪穴建物跡が検出できたことは、弥生時代集落範囲がさらに南側に展開することを裏付ける。また溝跡は、出土遺物から中世の溝と考えられ、15世紀後葉～16世紀前葉の区画溝と推定される。今後は弥生・古墳時代の鶴崎台地上での集落展開を確認していくことがまず重要であり、大分平野における鶴崎台地上の集落の位置づけを明らかにしていくことが課題となる。（五十川）

註1 大分市教育委員会1990「大分市埋蔵文化財調査年報」1

註2 大分市教育委員会1992「大分市埋蔵文化財調査年報」3

註3 大分市教育委員会1996「大分市埋蔵文化財調査年報」7

註4 大分県教育委員会2001「葛木遺跡」



第24図 調査区近景（西から）



第25図 SH-01完掘状況（北から）

IX 羽田遺跡第5次調査

調査面積 574.5㎡
地域 A

調査期間 09.01.13～09.03.13
調査担当 五十川雄也・長 直信

羽田遺跡は大分川右岸の沖積地に立地し、今回の調査（第5次調査）は市道拡幅事業に伴い行われた。第5次調査は4地点で実施され、検出遺構・遺物は縄文時代～近世まで確認されている。詳細は時代別に後述する。縄文時代は後晩期の包含層が確認され、周辺に縄文時代に関わる遺構・遺物が展開していることが予想される。大分川右岸の沖積地形成過程を知る上で重要な所見となろう。弥生時代は後期主体の円形竪穴建物跡などが約10基確認できた。当該期の集落跡は羽田遺跡北側に隣接する下郡遺跡群でも確認されており、大分川右岸における弥生時代集落の展開を考えていく上で貴重な資料となろう。古墳時代は前期の方形竪穴建物跡が1基検出し、焼失住居であることがわかった。また5世紀～6世紀と推定されるカマドを付設する方形竪穴建物跡も1基確認された。下部遺跡群を含め、大分川右岸の古墳時代後期竪穴建物跡の検出は数少なく、当該期の集落動態を考える上で重要である。古代は7世紀代のビットが確認されているが、性格は不明である。中世は13世紀前後の区画溝、14～15世紀代の井戸跡数基・土坑・掘立柱建物跡が確認されており、中世全般を通して調査区周辺に集落が営まれている状況が明らかになってきたが、性格は今後の調査で明らかにしていく必要がある。（五十川）



第26図 調査地点位置図



第27図 調査区周辺（上が北）

X 横尾遺跡第133次調査

調査面積 1175.4㎡
地域 E

調査期間 08.07.10～08.08.28
調査担当 塩地潤一・若松善満

調査地は、乙津川左岸に広がる鶴崎台地の城原面あるいは中位段丘3と呼ばれる標高約60mの平坦面に位置し、国指定史跡横尾貝塚の西側にあたる。鶴崎台地東側の多くの場所が急峻な崖であるなか、当該地周辺は例外的に緩傾斜をなしている。また、本調査地西側の一段高い段丘には、原石加工場遺跡と評価されている一方平Ⅰ遺跡が位置する。

調査の結果、旧石器時代から中世までの遺構・遺物を確認した。旧石器時代では、集石遺構を確認した。集中分布を構成する流紋岩製石器群には接合関係が認められ、石器製作が行われていたことを示唆している。

古代では、9世紀代の土師器を大量に廃棄した土坑や遺物包含層、中世では、16世紀代の遺物包含層を確認した。この他にも時期は確定できていないが、掘立柱建物跡2棟を確認した。（塩地）



第28図 調査地点位置図

XI 横尾遺跡第134次調査

調査面積 1124.8㎡ 調査期間 08.08.19～08.10.03
地域 E 調査担当 塩地潤一・若杉善満

調査地は、鶴崎台地の東縁にあたる。また、北側から西側に谷が解析しているため、この一帯の平坦面は南北に細く伸びている。

調査の結果、弥生時代から古墳時代はじめ頃の環濠跡と櫓跡、中世前半期の掘立柱建物跡と櫓跡をはじめ、溝状遺構や土坑を確認した。環濠跡については、西側の谷が迫り平坦面が最も狭まった場所に掘削されており、その北側に沿って櫓が認められる。調査地南側の大東中学校では、弥生時代の環濠集落跡が発見されており、その集落の北側を限る環濠と判断される。環濠跡からは、大量の土器と共に、銅戈の破片をはじめ銅鏃や磨製石鏃などが廃棄された状態で出土している。

中世前半期の掘立柱建物跡は、調査区の南東隅に位置し、四面に庇がつく可能性が高いものである。その北側には東西方向の溝状遺構があり、両者をつなぐように櫓跡が認められる。溝状遺構および土坑からは、土師器が大量に出土しており、その帰属年代からこれらの遺跡は12世紀前半頃に比定される。

以上のことから、これらの遺跡は1つの施設を構成するものと考えられ、台地東側の大野川低地から見れば、台地の縁に四面庇の大形建物がそびえ立っていた景観を復元することができる。また、出土した遺物の大半が土師器であることがこの遺跡の特徴であるが、そのなかに脚付の皿が複数認められ、今後遺跡の性格を解明できる大きな手掛りとなるものと期待される。(塩地)



第29図 調査地点位置図

XIII 横尾遺跡第135次調査

調査面積 1272.7㎡ 調査期間 2008.08.05～2008.10.06
地域 E 調査担当 永松正大・塩地潤一・若杉善満

調査地は、大東中学校の北東側に位置する。調査の結果、弥生時代と古代の掘立柱建物跡を検出した。

前者は、現状で調査区外に続くため、その規模は確定できていないものの柱間が広く、当該地の南側で環濠が確認されており、集落内に建てられた建物と想定される。

後者の掘立柱建物跡は2棟で、ともに2間×4間規模で、建て替えられた同一の建物と判断される。出土遺物が僅少であり、時期比定は難しいが、方位などから古代の遺構と考えられる。(永松)



第30図 調査区全景（上が東）

XIV 横尾遺跡第136次・137次・138次調査

調査面積 2951.5㎡
地域 E

調査期間 2008.11.10～2009.03.13
調査担当 堀地潤一・永松正大・若林善満・羽田野裕之

第136次調査

調査地は、国指定史跡横尾貝塚の西側にあたる。調査の結果、旧石器時代と古代の遺物・遺構を確認した。旧石器時代の遺物は、古代の遺構を検出した茶褐色土から出土した。古代の遺構は、大型廃棄土坑を複数検出した。切り合い関係が存在し、数度の掘り返しが考えられる。埋土は黒褐色土が上層に、下層に茶黒褐色土が堆積する。最下層には、茶黄褐色ブロックが堆積しており、掘削時のブロック土が流入したと思われる。出土遺物は土師器や須恵器が主体を占める。また、供膳具と貯蔵具を多く含む土坑が見られるなど、土坑による使い分けがあると考えられる。隣接調査地でも、廃棄土坑を検出するなど、当該地が古代の居住空間にあたると考えられる。



第31図 調査地点位置図

第137次調査

調査地は、国指定史跡の横尾貝塚の北側に近接する。調査の結果、古代の道路状遺構を検出した。道路状遺構は、ビットの集中部分とビットの希薄な部分とに分けられ、集中部分ではビットが列状に並び、ビットの深度は60～40cmと総じて深い。また、垂直よりやや傾斜させて掘削している状況が看取できる。周辺調査でも、同様の遺構が確認できており、区画、又は道路部分との所見が出ている。



第32図 第137次調査区全景（上が北）

第138次調査

調査地は、鶴崎台地の城原面と呼ばれる標高45m前後の中段段丘1と中段段丘3との境に位置する。調査の結果、中世後半期の溝状遺構1条と2本の柵跡を確認した。これらの遺構は、南北に伸びる東崖に沿って、同じ方向につくられている。この調査他では柱穴跡が散見される程度で、遺物の出土も少なく、今回の調査成果からは、詳細な遺跡の復元は困難である。

しかしながら、この場所より西側に中段段丘1の段丘面が広がることを踏まえれば、段丘崖に沿って今回確認された溝状遺構と柵跡は、集落の外縁につくられた施設と想定され、遺跡の密度は西側に向けて高くなると判断される。（永松）



第33図 調査地点位置図

XV 横尾遺跡第139次調査

調査面積 1931.9㎡ 調査期間 2008.12.19～2009.03.06
地域 E 調査担当 永松正大・塩地潤一・羽田野裕之

調査地は、上記第135次調査区の南側隣接地にあたり、弥生時代・古墳時代・古代・中世の遺構を検出した。

弥生時代では、多武尾遺跡の外側を廻る環濠と櫓跡が確認でき、環濠は南東から北西に延びており、周辺では横尾遺跡第68次や84次で検出している。また、集落の内側にあたる環濠の北東部では、大型柱穴遺構を2基検出した。両遺構ともやや楕円形プランで径約1.5m、床面まで約95cmをはかり、土層観察から柱痕による堆積が見られ、大型柱を設置した遺構と考えられる。周辺には、密接に関係する遺構は検出できていないことから、大型柱穴遺構のみで機能していたものと考えられる。大型柱穴遺構の南には、方形周溝遺構や、土坑墓などの空間利用が、北側では弥生時代の円形住居跡などが検出できており、大型柱穴遺構は弥生の環濠集落内を区分する遺構と考えられる。

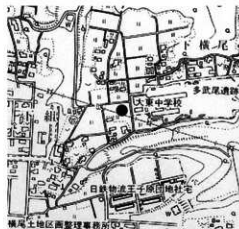
古墳時代では、カマドを付設する隅丸方形の堅穴住居跡を検出した。北側に焼土が集中しており、焼土内に高坏坏部を返した状態で検出しており、カマド廃棄に伴う祭祀と考えられる。燃焼部に土柱を設置しており、壁溝と貼床を施している。主柱穴は確認出来なかった。

古代では、2間×2間の総柱建物跡を検出した。柱の掘り方は円形で、径約60～40cm、床面まで約80～30cmを測る。また、複数回の建替が看取できる。柱穴の裏込めから8世紀初頭所産の土師器が出土しており、建物の築造時期を示唆する資料である。

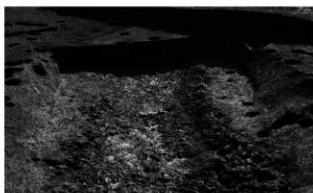
中世では、掘立柱建物跡6棟を検出し、2間×2間の総柱建物跡を2棟確認した。縦物に主軸方向に差異がみられ、築造時期の違いと考えられ、2～3時期の建物群が存在していたと考えられる。

また、建物群の北側では溝状遺構が検出でき、屈曲して南の調査区外へのびる。隣接する70次調査で確認した溝状遺構と思われ、建物群を廻る堀のような遺構と想定される。

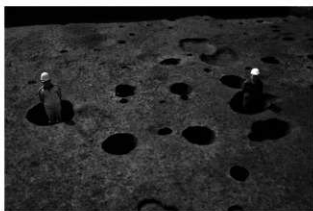
さらに、北側には大規模な掘り込みが見られ、中世段階の造成の痕跡と考えられる。(永松)



第34図 調査地点位置図



第35図 環濠（北から）



第36図 大型柱穴遺構（北から）

XVI 城原・里遺跡第12次調査

調査面積 115.4㎡ 調査期間 08.12.3～08.12.26
地域 G 調査担当 長 直信

城原・里遺跡は、東西に延びる標高約40mの丘陵東端に所在し、約400m離れた西側に海部郡衙の政庁と考えられている第2次～4次調査（旧遺跡名：中安遺跡）が位置する。調査を進めるに連れて、旧中安遺跡周辺の様相と第5次～9次調査地点で遺跡の様相が異なることから、遺跡範囲内の字名をとり、今後は旧中安地区周辺を「城原地区」、第5次～9次調査区周辺を「里地区」と呼称する。「里地区」における調査成果として、これまでの調査から、古代の遺構は大きく5段階に変遷することが判明している。うち、1期～3期は、7世紀後半～末に比定でき、建物主軸方向を真北よりやや西に振る掘立柱建物跡が一定の規格性（1次状もしくはコ字状）をもって配置・変遷することが確認されることから、全国的にも類例の少ない初期の官衙関連遺跡として注目されている。今回の調査は、これまでに判明した建物遺構の北西部の様相把握を目的として、7次調査A区の西側に2区、8次B区の北側に1区を設定し調査を行った。結果として、3期に属する南北方向の建物SB044を検出し、北西隅付近にも建物遺構が展開することが判明した。なお、2区で検出したSB043は、出土遺物より1期～2期の可能性が高い。また、4期の遺構としては総柱建物SB045・046を検出し、SB033・028・027・029を含めて6棟の倉庫状の建物列が直列配置されることが確認できた。これまでの調査成果を総合した上で、今後は「城原地区」を含めた遺跡全体の遺構変遷や同時性を検討する中で城原・里遺跡を評価する必要がある。（長 直信）



第37図 調査地点位置図



第38図 1区建物調査状況
(南東から)

XVII 大將軍古墳

調査面積 64㎡ 調査期間 2008.6.04
地域 B 調査担当 佐藤道文

調査は大規模宅地造成に伴うもので、開発地には周知遺跡である大將軍古墳が存在している。造成計画上、本古墳が消失することから記録保存を目的とする調査を実施した。平成19年度に確認調査を行っており、その結果、積み土を予測させる土層堆積や須恵器破片が確認されていることから、古墳等の墳墓である可能性が想定された。墳丘部と思われる地点の掘り下げを行ったが主体部は確認されず、土層観察の結果、積み土と考えられていた土層は自然堆積土（旧表土）と判断されたことから古墳の可能性は低いと考えられる。旧表土を除去すると、基盤層である礫質土が表出するが、遺構は検出されなかった。今回の調査の結果、大將軍古墳は遺跡である可能性は極めて低いといえる。但し確認調査の際、須恵器が出土しており、関係性の解明が課題である。（佐藤道文）



第39図 調査地点位置図

XVIII 千代丸古墳・宮苑遺跡第2次調査

調査面積 76㎡
地域 B

調査期間 08.12.08～08.12.26
調査担当 古川 匠

調査地は、大分川の支流・賀来川上流域の左岸に位置し、庄ノ原古墳南側の河岸段丘面にあたる。当該地一帯は、本格的な横穴式石室墳が造営される大分平野唯一の地域である。

国指定史跡・千代丸古墳は、市内で唯一の装飾古墳であり、最大規模の石室をもつ古墳時代後期の首長墳である。また、千代丸古墳に隣接して中世の館跡が確認されており、宮苑遺跡として周知されている。

今回の調査は、千代丸古墳の範囲と詳細な築造年代の確定を目的に、墳丘の北側と東側に4箇所の調査区を設定して実施したものである。

墳丘の北側に設定した第1～3トレンチでは、周壕は確認されなかった。各トレンチにおける堆積土の状況から周壕を完全に破壊する程の後世の造成が行われたとは想定し難く、墳丘の北側に当初から周壕が形成されていなかった可能性がある。一方、墳丘の東側に設定した第4トレンチでは、周壕の可能性がある溝状遺構が検出されており、既往の調査成果を踏まれば、墳形は円墳もしくは方墳と考えられ、その規模は石室を中心に東西25m以上であると復原される。

また、第3トレンチからは6世紀後半から末頃に比定される須恵器の甕が出土している。原位置から二次的に移動した遺物であるものの、横穴式石室の年代と符号するものであり、調査目的である古墳の時期確定に資する成果である。(塩地)



第40図 調査地点位置図



第41図 調査区全景合成写真（上が北）

XIX 宮苑・井ノ口遺跡第5次調査

調査面積 76㎡
地域 B

調査期間 08.05.07～08.06.30
調査担当 永松正大・古川 匠・奥村義貴

調査地は、大分川の支流・賀来川下流域の左岸に位置し、庄ノ原台地南側に広がる帯状の狭い沖積平野にあたる。

当該地一帯は、既往の調査成果より弥生時代から古墳時代に集落が形成された微高地が復原されている地点である。

今回の調査では、弥生時代から古墳時代の竪穴住居跡や弥生時代後期の集落を区画する溝状遺構が確認されている。

また、集落が形成された微高地がおおよそ南北65m、東西55mほどの範囲であることが判明しており、集落内の居住域の様相を解明する上で注目される成果である。

なお、詳細は報告書が刊行されている。(塩地)



第42図 調査地点位置図

XX 米竹遺跡第3次調査

調査面積 140㎡
地域 E

調査期間 08.06.09～08.06.20
調査担当 五十川 雄也

米竹遺跡第3次調査は鶴崎台地の西北端にあたり、標高約40m、比高差約30mの立地にあたる。これまでに数回の発掘調査が米竹遺跡では実施されている。検出遺構の大部分は弥生時代であり、鶴崎台地の北側に拠点的な性格をもつ集落跡が展開していた可能性が高い。今回の第3次発掘調査区は、集合住宅の用壁部分を対象とした調査であるので、調査区は「コ」字状の形状を呈する。調査面積は約160㎡である。土地の現状は水田であった。現地表から遺構面までの深さは約0.4mで、出土遺構は密度が高く、多くの遺構が切り合いをもつ。遺構の帰属する時代はほとんどが弥生時代であり、遺構面直上にある包含層からは中世遺物が少量出土している。検出遺構は弥生時代の竪穴建物跡・貯蔵穴・溝・土坑などである。出土遺物は弥生時代中期前葉～中葉中心で、甕、壺、脚付き鉢、石器類などが出土している。

この米竹遺跡第3次調査の詳細は、2009年に本報告書が刊行されており、こちらを参照していただきたい。(五十川)



第43図 調査地点位置図



第44図 調査区近景（南東から）

2. 分布調査の成果概要

I 丹生庄の調査

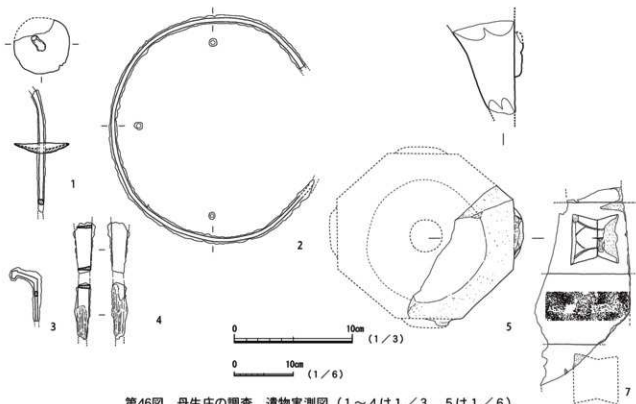
平成20年度に県経営体育成基盤整備事業（丹川地区）に伴う発掘調査報告書（大分市教委2009『丹生遺跡群／丹生川坂ノ市条里跡』以下、報告書P〇〇と記す）が刊行された。今回は当報告書に掲載予定だった無縫塔竿片実測図と第10地点ST012出土遺物の実測図を追加する。

無縫塔竿片は丹生川上流域の第2光蓮寺橋周辺で発見され（第1図参照）、平成21年度に地権者の方から市教委への寄贈を快諾いただいた。当遺物は報告書P427・P570に写真を掲載している。実測図は第2図5に示す。石材は凝灰岩製であり、平面形状八角形で、内側は楕円状に彫り込み、内容物を納められる空間を作り出している。側面には陽刻の蓮華文を推定4つ配し、さらに陰刻文字が残存している。文字は「貞口末丁七月念二口」とあり、1367年銘と考えられる。この無縫塔竿片はその形状・大きさや文献史的にも旧大田村宝蛇寺無縫塔との関連が指摘されており、詳細は報告書P418、P426～429を参照していただきたい。

第2図1～4はすべて報告書P317のST012からの出土遺物で、すべて鉄製品である。1は報告書P317R3039と同一のもので、紡錘車である。2は円形になると推定される鉄製のもので、その出土状況や共伴遺物に円形湖州鏡などが出土していることから、これらに関連する容器などを固定していたものと推定される。ただし容器は検出できていない。3は鉄釘である。当遺構が木棺墓である可能性が高くなった。4は刀子片か。鞘部に木質が残存する。（五十川）



第45図 無縫塔竿片位置と周辺図(1/2,500)



第46図 丹生庄の調査 遺物実測図（1～4は1/3、5は1/6）

3. 埋蔵文化財の概要

(1) 埋蔵文化財調査報告書の成果概要

刊行した報告書は11冊で、調査成果の概要は以下のとおりである。

- ① 『丹生川坂ノ市条里跡 丹生遺跡』 莊園村落遺跡調査（地名や水利、石造文化財等から莊園村落の景観と歴史を復原する文化財総合調査）を踏まえ実施された、中世丹生荘における発掘調査。豊後国の守護大名大友惣領家の直轄領支配に係る成果が報告されている。特筆される遺構としては、荘官クラスの屋敷跡をはじめ、15世紀代の土師器が大量に廃棄された土坑や古代丹生郷に係る掘立柱建物跡や石敷き遺構など、出土遺物としては、龍泉窯系青磁碗Ⅲ類・磁甕窯系黄釉壺・褐釉陶器四耳壺などの貿易陶磁器をはじめ、畿内産黒色土器碗・同瓦質鍋・瀬戸内系の土師質鍋、古代の越州窯系青磁碗・緑釉陶器・灰釉陶器などがある。
- ② 『府内城・城下町跡6』 近世府内城・城下町三ノ丸の府内藩に勤仕する家臣の屋敷が存在した場所の調査。屋敷地割とその空間利用についての復原がなされている。特筆される出土遺物には、江戸産の「丸熊マーク」の土製温石があり、使用者が限定されていた可能性が指摘されることから屋敷とその居住者の解明に寄与する成果が報告されている。
- ③ 『大友府内13』 中世大友府内町跡の南北街路と万寿寺西側の堀跡の調査。特筆される出土遺物には、中国南方産褐釉陶器水注、金襴手と呼ばれる中国景德鎮系磁器の碗・皿、タイ産メナムノイ窯系統縮陶器鉢などがある。
- ④ 『宮苑井ノ口遺跡第5次調査』 弥生時代～古墳時代の集落跡の調査。古地形と集落の変遷が復原されている。
- ⑤ 『大友府内14』 中世大友府内町跡と近世府内城・城下町跡が重複する地点の調査。中世の大型掘立柱建物跡や近世初頭の土壇跡をはじめ、近世の町道跡や廃棄土坑・井戸跡などが確認され、中世から近世にかけて大きく転換する場の様子が報告されている。
- ⑥ 『大道遺跡群2』 古代の官衙跡と古墳時代前期の環壕集落跡の調査。特筆される出土遺物には、古代の奈良三彩釜・面碗・転用碗・灰釉陶器・緑釉陶器をはじめ、古墳時代前期初頭頃の淡路型器台・重飾具として使用された青銅製の鏡片がある。
- ⑦ 『下郡遺跡群Ⅶ』 弥生時代の円形・弧状に分布する貯蔵穴群と古代の大型掘立柱建物群と条里地割の調査。特筆される出土遺物には、弥生時代中期前葉頃の青銅製?・タタキ技法や円盤充填技法により成形された土器をはじめ、同後期から古墳時代前期にかけての遺存率の高いまとまった土器群や古代の硯・墨書土器・刻書土器・東海産須恵器壺がある。
- ⑧ 『府内城・城下町跡7』 近世府内城・城下町三ノ丸の蔵屋敷や府内藩に勤仕する家臣の屋敷が存在した場所の調査。特筆される遺構として、17世紀代の規格的に配置された掘立柱建物跡がある。
- ⑨ 『米竹遺跡第3次調査』 弥生時代中期を主体とする竪穴住居跡と貯蔵穴の調査。石包丁状磨製石製品が出土している。
- ⑩ 『木ノ上・田原地区の墳墓群』 古墳時代前期の墳墓と市内最古の高来山横穴墓をはじめとする同中後期の横穴墓群の調査。特筆される出土遺物には、鉄刀・鉄鍬・銅鏡・ガラス玉がある。
- ⑪ 『横尾遺跡2』 弥生時代後期終末頃の粘土採掘坑と古代の道路状遺構と掘立柱建物跡の調査。
特筆される出土遺物には、旧石器時代の有茎尖頭器・国府型ナイフ形石器をはじめ、古代の緑釉陶器や軒丸瓦がある。（塩地）

(2) 教育普及活動の成果概要

① 海部古墳資料館特別展 タイムトラベラー2008

開催期間：平成20年9月21日～11月16日

「速吸の海に生きた豪族たち ～大在・里・本神崎の古墳～」をテーマとし、市内東部の旧海部郡地域に所

在する首長墓と考えられる大型古墳を対象とした。県内有数の大型前方後円墳である国指定史跡築山古墳をはじめ、辻古墳、大在古墳を加えた3基の古墳について、解説パネルや埴輪を中心とする出土遺物を展示した。

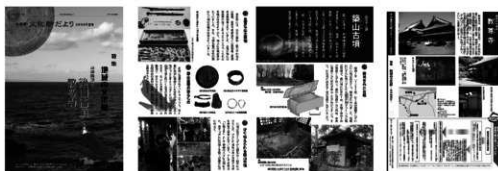
② 大分市文化財だより2008年号の発行

刊行日：平成21年3月19日

文化財だより2008年度号は、「地域の文化財」をテーマとし、本号では本神崎地区の文化財を取り上げた。海部特別展でも展示した、国指定史跡築山古墳の遺構と遺物を解説するとともに、地域の人々によって大切に守り伝えられていることを紹介した。また、県有形文化財を含む江戸時代の貴重な建物が多く残されており、熊本藩主細川氏の休憩所としても使われた教尊寺も合わせて紹介した。(高畠)



第47図 展示のようす



第48図 文化財だより2008年度版の内容

③ 旅する長崎学連携講座 『比べてみれば、ふるさと歴史再発見!』

「旅する長崎学」は、長崎県の歴史や魅力を全国に発信していく取り組みで、歴史・文化を活かして、ふるさとの誇りや愛着を育むとともに、各地への交流人口を広げていくことを目指すプロジェクトである。

南蛮貿易都市として栄えた府内と長崎。日本キリスト教史の舞台となり、国際色豊かな歴史を辿った大分と長崎について、町や人物、史跡などの比較をとおして、互いの歴史を学びながら、それぞれのふるさとの魅力を再発見し、また、大分と長崎の相互の歴史・文化を学ぶことで、交流の歩みを現代にもつなげ、地域間の活性化をはかるために開催したものである。

【公開講座①（平成20年7月27日）】 テーマ 「キリシタン文化 人物伝」 聴講者 120名

布教が始まる戦国時代から、発展・弾圧の歴史を辿った日本のキリシタン文化、中でもキリシタン大名大友宗麟・大村純忠、ローマを見た福者ペトロ・岐部カスイと中浦ジュリアンといった人物に焦点を当て解説を行った。

【公開講座②（平成20年9月21日）】

テーマ 「大分と長崎をつなぐキリシタンベルト」

聴講者 140名

豊後から長崎をつなぐ「キリシタン・ベルト」という考え方の背景にある、日本の歴史的背景や宣教師たちの布教戦略、



第49図 公開講座①のようす



第50図 公開講座②のようす

戦国大名たちの支配圏や外交・流通などの政策を整理しながら、キリシタン文化が華開いた時代に大分と長崎が果たした役割や両県の歴史・文化の繋がりについて解説を行った。(佐藤)

④ 大友氏遺跡フェスタ2008大友氏館跡発掘調査10周年記念シンポジウム

「ここまでわかった！豊後府内と大友館」

開催日時 平成20年10月5日 日曜日 13:30-16:15

開催場所 大分銀行赤レンガ館大ホール 参加人数130名

大友氏遺跡フェスタ2008では、「ここまでわかった！豊後府内と大友館」と題して「大友氏館跡」発掘10周年記念シンポジウムを開催した。最前線で調査・分析を進める研究者たちの最新成果を市民に分かりやすく紹介し、シンポジウムでは近年の考古学の発掘調査成果に基づき新たな豊後府内、大友宗麟像が論議された。特に文献史料の研究と遺跡から出土する多彩な貿易陶磁器の様相から、大友氏第21代宗麟が、同時代に生きた織田信長や豊田秀吉等とは異なり、日本国内に留まらず広く東アジアをターゲットとしていた点を改めて確認した。また、こうした姿勢から大友氏を「アジア大名」という新たな概念で捉えるべきである等の意見が出された。当日の報告は以下のとおりである。

「中世都市豊後「府内」の変遷ー近年の発掘調査からー」

大分県埋蔵文化財センター 坂本嘉弘

「川からの中世都市」 国立新居浜高専准教授 鹿毛敏夫

「大友館の変遷と府内周辺の方形館」 大分市教育委員会 坪根伸也

「イエズス会豊後府内教会と付属墓地」 大分県教育庁文化課 田中祐介 (坪根)



第51図 シンポジウムのようす



第52図 会場入口のようす

⑤ 写真パネル展 「大友氏館跡周辺の今、むかし」

平成20年9月26日(金)～平成20年10月6日(月)にかけて、大分銀行赤レンガ館ATM前において、「写真パネル展 大友氏館跡周辺の今、むかし」を開催した。

平成20年度で大友氏館跡の発掘調査は10年目をむかえたことを記念し、これまでの調査成果とともに大友氏館跡とその城下町が広がる顕徳町、元町の昭和30年代の風景等を写真パネルとして、大分合同新聞社や顕徳町在住の方の資料提供等の協力のもと展示を行った。

歴史好きの方はもちろんであるが、日頃、文化財についてなじみが薄い人々にも「大友宗麟」や「大友氏館跡」について気軽に知れる場をつくり、頭の片隅に留めていただくとう企画したものである。

大分生活文化展の期間中ということもあり、多くの方が見学され、昔のまちなみを懐かしむ様子や、遺跡が発掘される様子を興味深く眺めている光景が見受けられた。(佐藤)



第53図 写真パネル展のようす

⑥ 横尾遺跡 弥生のムラ ウォーキング

日にち 1月10日(土) 参加人数 80人

横尾地区の大東中学校周辺に残る弥生時代の環壕集落跡を解説するために実施した遺跡の説明会で、ウォークラリー形式で弥生のムラの場所を見つけ出し、案内図をたよりに歩きながらムラの大きさを体感してもらうイベントを行った。

横尾遺跡は、弥生時代終わり頃（今からおよそ1800年前）に台地の上につくられたムラの遺跡で、その広さはおよそ11ヘクタールである。天然の要崖を結ぶように大きな溝（濠）や柵をめぐらせてムラを囲み、その中心部には濠とその内側に土塁を築くなど防御された区画の存在が明らかになってきている。また、濠が掘られた場所も実に合理的で、台地の幅が最も狭い場所が選ばれており、崖や谷など自然地形を最大限利用してムラを囲み、計画的につくられたことが分かる。

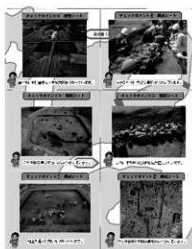
この他にも、ムラには竪穴住居跡や溝で囲まれた掘立柱建物跡をはじめ、土坑墓や粘土の採掘場などが見つかっており、ムラの様子も解明されはじめている。（塩地）



第54図 ウォーキングのようす



第55図 案内図の内容



第56図 解説シートの内容

⑦ 大友氏館跡現地説明会

平成20年7月27日 開催 参加人数 150人



第57図 遺跡解説のようす



第58図 出土遺物解説のようす

⑧ 大友氏遺跡体験館

大友氏遺跡体験学習館は、キリシタン大名として有名な大友宗麟によって西洋文化が華開いた「大分のまちを楽しく学べる歴史の教室」として大友氏の菩提寺の一つである万寿寺跡において平成20年4月25日に開館した。

平成8年から本格的に戦国時代の遺跡の発掘調査が進められ、これまでに大友宗麟の屋敷や万寿寺跡が確認され、まちの様子もわかってきた。それにともない中国をはじめ東南アジア産の陶磁器など、多くの遺物の発見もあった。

こうした遺跡の情報を多くの方に広く知ってもらうために、「知ろう！・触れよう！・感じよう！・調べよう！」をコンセプトに、出土品の展示や出土品に触れたりできる各コーナーや映像を使った遺跡の解説、遺跡に関する書籍を利用できるブースなどが設けられ、中世の歴史を学び、調べ学習がおこなえる施設になっている。

開館年度となる平成20年度においては、個人の見学者、団体での予約見学者等多岐にわたる利用があった。団体の内、学校関係からは、ふれあい歴史体験講座での発掘体験、小学校の遠足にあわせての施設見学、中学校の調べ学習、遺跡の出張説明等の利用がみられた。また、行政関係においても公民館講座の一環で旧跡めぐりの解説や広聴広報課や観光課からの団体の受け入れなど各部署との連携による見学が見込まれた。さらにJR九州主催によるウォーキングや県内外からの史跡探訪を含めた観光客にも利用された。

自主事業では、年3回の歴史講座や南蛮菜花園でのかぼちゃの栽培、犬のお守り作りや大友宗麟のペーパークラフトを作る体験工房、遺跡の現地見学会なども定期的におこなっており、多くの方が歴史学習の場として利用された。こうした活動により、海外との広いつながりをもった国際貿易都市・豊後府内のまちの魅力に触れていただけたところである。



第59図 施設外観



第60図 体験学習の様子



大友氏遺跡 体験学習館

◎施設概要

- ◆開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）
- ◆休館日 第1月曜日の翌火曜日と第2～5月曜日（祝日の場合は翌日）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12月28日～1月4日）
- ◆交通機関 JR大分駅より徒歩30分
大分バス（元町・富岡・滝尾循環／元町経由古国府循環）
東元町下車徒歩3分
- ◆入館料 無料

第3章

受贈図書目録

北海道	帯広市図書館	帯広市蔵書第58巻	2008年
	古田蔵書第24	帯広市蔵書第59巻	2008年
	古田蔵書第25		
	財団法人北海道埋蔵文化財センター		
山形県	チエタ 第30号	財団法人北海道埋蔵文化財センターだより 第30号	2009年
	チエタ 第21号	財団法人北海道埋蔵文化財センターだより 第21号	2009年
	調査年報21～平成20年度～		2009年
	山形市教育委員会		
福島県	鶴巻跡・船津跡調査報告書	山形県山形市埋蔵文化財調査報告書 第29巻	
	山形市埋蔵文化財調査年報～平成18年度～		
	甲府市内遺跡V～平成11～12年度試掘調査報告書～	甲府市文化財調査報告書	
	いわき市教育委員会		
茨城県	神力前古跡1～4区	いわき市埋蔵文化財調査報告第126冊	2008年
	玉山古墳～平成19年度掘削調査報告～	いわき市埋蔵文化財調査報告第127冊	2008年
	平城跡・日外堀跡の調査		
	福島大学行政学・歴史考古学研究室		
栃木県	坂中遺跡1～福島県本宮市坂中遺跡調査・物理探査・発掘調査報告書	福島大学考古学研究報告第3巻	2008年
	郡山市教育委員会/財団法人郡山市文化・学び振興公社		
	田中遺跡～第3次調査報告～		2009年
	郡山市教育委員会		2009年
茨城県	清水古遺跡～第20～28次調査報告～		2009年
	日利田古遺跡～発掘調査報告～		2009年
	清水古遺跡と古代の郡山		2009年
	筑波大学		
茨城県	筑波大学 先史学・考古学研究 第19号		
	つくば市教育委員会		
	『史跡小田城跡～第45次調査(堀辺曲輪跡確認調査Ⅱ)概要報告～』		2008年
	『史跡小田城跡～第48次調査(堀辺曲輪跡確認調査Ⅱ)概要報告～』		2009年
茨城県	『史跡小田城跡～第40次調査(堀辺曲輪跡確認調査Ⅱ)概要報告～』		2009年
	筑波市		
	『つくば市内遺跡～平成14年度発掘調査報告書～』		
	『つくば市内遺跡～平成16年度発掘調査報告書～』		
茨城県	『つくば市内遺跡～平成17年度発掘調査報告書～』		
	足利市教育委員会		
	国指定史跡 藤本宮山古墳 ～発掘調査でわかったその姿～		2008年
	史跡雄略寺跡(法界寺跡)		2008年
群馬県	高崎市教育委員会		
	史跡箕輪城跡・史跡箕輪城跡内宮跡調査報告書	史跡箕輪城跡調査報告第8巻/高崎市文化財調査報告書第229巻	2008年
	株式会社 火山考古学研究所		
	火山考古学に関する資料		2009年
埼玉県	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団		
	研究紀要26		2008年
	埼玉県教育委員会		
	城見上遺跡(第2次)～町内遺跡12～	宮田町文化財調査報告 第29巻	2009年
千葉県	市川市教育委員会		
	市川市内遺跡発掘調査報告書		2008年
	下総国分遺跡		2008年
	谷南遺跡 第24地点発掘報告書		2008年
千葉県	国立歴史民俗博物館		
	国立歴史民俗博物館研究報告	第139巻(2008年3月)	2008年
	国立歴史民俗博物館研究報告	第140巻(2008年3月)	2008年
	国立歴史民俗博物館研究報告	第141巻(2008年3月)	2008年
千葉県	国立歴史民俗博物館研究報告	第142巻(2008年3月)	2008年
	国立歴史民俗博物館研究報告	第143巻(2008年3月)	2008年
	国立歴史民俗博物館研究報告	第144巻(2008年3月)	2008年
	国立歴史民俗博物館研究報告	第145巻(2008年3月)	2008年
千葉県	財団法人山武郡市文化財センター		
	山武市史跡調査(2005～14年度)～エターミナル物流センター建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～	財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第100巻	2008年
	堤根・山・山台跡・徳田合葬墓・姫澤田古墳群	財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第101巻	2008年
	阿波板遺跡～住宅市街地基盤整備事業(一般国道355号)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～	財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第102巻	2008年
千葉県	中島古墳群(1952～2001)～I C 周辺整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～	財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第103巻	2008年
	年報 No.23～平成18年度～		2008年
	年報 No.24～平成19年度～		2008年
	山武・三光古墳群(宝馬1995)～芝山町遺跡、06号墳建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～	財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書第104巻	2008年
千葉県	宮崎上野台遺跡	財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書第105巻	2009年
	大塚遺跡(谷見1412～1413)～場所見当発掘調査報告書に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～	財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書第106巻	2009年
東京都	宇都宮市教育委員会		
	『宇都宮市の歴史と文化』研究報告書		2009年
	『宇都宮市の歴史と文化』第4巻 宇都宮市の歴史と文化		2009年
	シラスタ株式会社/加藤建設株式会社		
東京都	武蔵国府史跡調査報告書～約中環好11日11～11における事務所建設に伴う事前調査～		2008年
	武蔵国府史跡調査報告書～約中環好11日11～11における集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～		2008年
	国分寺市立歴史博物館		
	武蔵国分寺跡発掘調査報告書		2008年
東京都	武蔵国分寺跡発掘調査報告書		2008年
	東山武蔵国分寺跡発掘調査報告書		2008年
	並・市道跡発掘調査報告書V(2分冊)		2008年
	平成16・17年度国分寺市埋蔵文化財調査年報		2008年
東京都	平成18年度国分寺市埋蔵文化財調査年報		2008年

府中市教育委員会／府中市道徳推進委員会	武蔵国府の調査35～平成6年度府中市内発掘調査情報～	2007年
	武蔵国府の調査36～平成6年度府中市内発掘調査情報～	2007年
	武蔵国府の調査37～平成6年度府中市内発掘調査情報～	2008年
	天神町跡発掘調査報告4～府中市計画道路33・4・13号拡幅に伴う事前調査～	2008年
国分寺市教育委員会	武蔵国府跡発掘調査報告第一巻～美杉町地域の調査10～（府中市第三～美杉町住吉建設に伴う事前調査）	2008年
	「武蔵国分寺跡発掘調査情報34J」	2009年
	「平成19年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報」	2009年
	「史跡武蔵国分寺跡（附寺北東地域）保存整備事業報告書」	2009年
加瀬建設株式会社／東京府府中市	武蔵国府関連発掘調査報告～「レクセル府中西府」新築工事に伴う事前調査～	2008年
	世田谷区立調子木資料館	
	特別区緑地（高杉人岡本貴生の実生～第三章二百箇の遺意を得る者～）	2008年
	資料館だより 49号	2008年
国分寺市教育委員会ふるさと文化財課	資料館だより No.50	2009年
	府県報世田谷館 観音堂三	2009年
	世田谷区書庫 第三集	2009年
	「武蔵国分寺跡発掘調査情報34J」	2009年
千代田区教育委員会	「平成19年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報」	2009年
	「史跡武蔵国分寺跡（附寺北東地域）保存整備事業報告書」	2009年
	文京区立戸城外堀跡保存管理計画書	2009年
	東京文化研究所	
明治大学博物館	無形民俗文化財映像記録作成の手引き	2008年
	先河村の山をのりき、海をわたる一日～判明人類文化のバイオエナジー～	2008年度明治大学博物館特別展図録
	「古代J 120号」	2008年
	「古代J 121号」	2008年
特定目的会社府中片町インベストメント／大成エンジニアリング株式会社	武蔵国府関連発掘調査報告～府中市片町3丁計画に伴う埋蔵文化財発掘調査～	2008年
	社団法人 日本ユネスコ協会連盟	
	「世界遺産 年報2009」	2008年
	学術成果研究	
神奈川県	「弥生農耕の起源と東アジア 研究成果報告書」	2009年
	「弥生時代のはじまり 第4巻 弥生農耕のはじまりとその年代」	2009年
	全国史跡発掘発掘市町村協議会	
	全国史跡発掘発掘市町村協議会年報（平成19年度版）	2008年
新潟県	専修大学	
	山形市史蹟調査～新方後円墳の確認調査～	2008年
	新潟市教育委員会	
	「神奈川関連市 埋蔵文化財緊急調査報告書 6」	2008年
山形県	熊川市教育委員会	
	熊川市城跡跡地調査～セブン・イレブン・ジャンパーの店舗建設に伴う発掘調査～	2008年
	市内遺跡3～鳥居城跡・城の山古墳3次・新宮寺遺跡・つむじ城跡・古賀跡～	2008年
	野村藩跡第3次・築山川内城河成基跡（二載）事業に伴う発掘調査報告書～	2008年
山形県教育委員会	「山形県遺跡（史跡）～市道あかね町加賀新道 道路改良事業に伴う発掘調査報告書～	2008年
	山形県城跡総合調査報告書	2008年
	制田法人 富山文化財財団財団埋蔵文化財調査事務所	
	とやま発掘だより～平成19年度 発掘調査速報～	2008年
富山県埋蔵文化財センター	弥生時代のムラ（上）上入遺跡	2008年
	埋文とやま Vol.100	2007年
	埋文とやま Vol.101	2007年
	埋文とやま Vol.102	2008年
新潟県埋蔵文化財調査報告書	埋文とやま Vol.103	2008年
	「高岡市埋蔵文化財調査情報第66巻 市内遺跡調査Ⅷ」	2008年
	「高岡市埋蔵文化財調査報告書第65巻 二上谷内遺跡調査情報」	2008年
	「高岡市埋蔵文化財調査報告書第66巻 中谷内遺跡・寺谷内橋大橋遺跡調査情報」	2008年
新潟県埋蔵文化財調査報告書	「高岡市埋蔵文化財調査報告書第18巻 常陸遺跡調査報告書」	2008年
	「高岡市埋蔵文化財調査報告書第17巻 石塚遺跡調査報告書」	2008年
	「高岡市埋蔵文化財調査報告書第16巻 下野遺跡調査報告書」	2008年
	「高岡市埋蔵文化財調査報告書第15巻 山崎町遺跡調査報告書Ⅱ」	2008年
新潟県埋蔵文化財調査報告書	「高岡市埋蔵文化財調査報告書第14巻 東津波遺跡調査報告書」	2008年
	白岩山発掘調査情報～個人住宅建設に伴う埋蔵文化財調査～	2008年
	作道遺跡発掘調査報告～市道松本作道遺跡改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査～	2008年
	高島山遺跡発掘調査報告～射水市立新南郷中学校用地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査～	2007年
新潟県埋蔵文化財調査報告書	太閤山遺跡発掘調査報告～公園整備建設に伴う埋蔵文化財発掘調査～	2007年
	北高木遺跡発掘調査報告①～企業団地造成事業に伴う埋蔵文化財調査～	2007年
	射水市内道路発掘調査～寛～平成17・18年度～	2008年
	射水市内道路発掘調査報告Ⅰ～赤田Ⅰ遺跡本発掘調査～市田地区区調調査～	2008年
小松市教育委員会	観見町遺跡Ⅱ～串・観見地区産業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ～	2008年
	小松市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ（尸津ツギザワ遺跡・堀田山・明神1号墳・兼原遺跡）	2008年
	八日市地方遺跡Ⅱ～共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書②～	2008年
	八日市地方遺跡Ⅳ～店舗建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書②～	2008年
小松市教育委員会	上本所遺跡～都市計画道路大和と北沢間の沿路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書②～	2008年
	まいい遺跡フィールドワーク報告「加賀国府と寺田八郎」	2008年
	小松市埋蔵文化財調査だより No.13	2008年
福井県	福井県埋蔵文化財	
	年報～21～（平成17年度）	2007年
	年報～22～（平成18年度）	2008年
	中谷遺跡ⅠⅡ区上層部～九頭川等河川改修事業に伴う調査	福井県埋蔵文化財調査報告書 第100巻
福井県埋蔵文化財調査報告書	藤巻多古坊遺跡～中谷遺跡自動車道建設事業に伴う調査①～	2008年
	下野城跡～福井県内地下埋蔵発掘調査事業に伴う発掘調査①～	2008年
	上野山遺跡跡地～四谷九平堀川下流土地改良事業に伴う調査①～	2008年
	福井県埋蔵文化財調査報告書 第103巻	2008年

	あわら市埋蔵文化 古越前路跡・国指定史跡保存修理事業報告書－	あわら市埋蔵文化財調査報告書 第2巻	2008年
	勝山市埋蔵文化 史跡 白山平野寺境内発掘調査報告書－南宮坊院内宮礎礎発掘調査・発掘調査事業等－	勝山市埋蔵文化財調査報告書 第16巻	2008年
勝間田	保井市教育委員会 保井市立立羽郷土資料館 通跡でたどる保井のあゆみ 第1冊 旧石器時代～弥生時代の巻 通跡でたどる保井のあゆみ 第2冊 古墳時代の巻 通跡でたどる保井のあゆみ 第3冊 奈良・平安時代の巻 通跡でたどる保井のあゆみ 第4冊 鎌倉～戦国時代の巻	保井市教育委員会 保井市立立羽郷土資料館 保井市教育委員会 保井市立立羽郷土資料館 保井市教育委員会 保井市立立羽郷土資料館 保井市教育委員会 保井市立立羽郷土資料館	2006年 2007年 2007年 2008年
	保井市教育委員会／保井市役所都市建設課建設課 越田1 通跡	保井市教育委員会／保井市役所都市建設課建設課	
	保井市教育委員会 勝之上通跡（55～67次調査）	保井市教育委員会	2008年
	保井市教育委員会 市川城本丸跡出土発掘調査・谷冷水浄水施設工事等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－長寿院北通跡・東南通跡－ 静岡朝日新聞市教育委員会		2009年
	新井土地区画整理組合／静岡市教育委員会 八幡神社南古墳発掘調査報告書－新井土地区画整理事業に伴う調査－	新井土地区画整理組合／静岡朝日新聞市教育委員会	2009年
	浜松市教育委員会 内野1古墳群－稲荷山古墳・山の神古墳発掘調査報告書－	浜松市教育委員会	2009年
	(財) 浜松市文化振興財団 東石古通跡・2次調査	浜松市文化振興財団	2009年
	東石古通跡	浜松市文化振興財団	2007年
	郡田町本村通跡 1次調査報告書	浜松市文化振興財団	2009年
	堤花通跡	浜松市文化振興財団	2008年
	東原通跡33次	浜松市文化振興財団	2008年
	東原通跡1回	浜松市文化振興財団	2008年
愛知	南山大学大入館学術情報 南山大学大入館学術情報紀要 第36号	人類学博物館紀要 第27号	2009年
	愛知学院大学考古学 愛知院山原市 宮古通跡の発掘記録2 岐阜県中津川市 上郷2号墓跡－第2次発掘調査概報報告書－	愛知学院大学考古学発掘調査報告書5 愛知学院大学考古学発掘調査報告書6	2008年 2008年
	吉良町埋蔵文化財センター 雪古山通跡発掘調査報告書	吉良町埋蔵文化財発掘調査報告書 第4巻	2008年
	吉良町埋蔵文化財センター 御一里－御一里北山並道試掘調査報告書（櫛・大御茶屋、鳥居口北遺跡、笠形墓・南宮跡、吉田遺跡、城山A遺跡、ヤカイ・黒白松遺跡）－郡庁市埋蔵文化財センター調査報告 第37巻 市／奥通跡・市道山ノ下橋井跡、市道山ノ下第11・12号線改定工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 下手大堀古通跡－耐震性耐水橋造工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 豊川市内通跡発掘調査概報ⅩⅠ－史跡三河分庁寺遺跡敷地本城築造に伴う発掘調査概報Ⅱ－	吉良町埋蔵文化財センター調査報告 第37巻 吉良町埋蔵文化財発掘調査報告書 吉良町埋蔵文化財発掘調査報告書 吉良町埋蔵文化財発掘調査報告書 吉良町埋蔵文化財発掘調査報告書 吉良町埋蔵文化財発掘調査報告書	2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年
	山本 麗人（名古屋大学） 縄文時代の植物収集活動－野生根茎類食料化の民俗考古学的研究－ 増訂版		2008年
	豊田市教育委員会 平成18年度市内通跡発掘調査事業概報報告書 井上1号墳 赤坂古墳群跡 丸根通跡・丸根城跡 寺母城（坂城）跡 豊田市資料館跡より No.5 豊田市資料館跡より No.6	豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第30巻 豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第31巻 豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第32巻 豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第33巻 豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第33巻	2008年 2008年 2008年 2008年 2008年
	名古屋市長岡考古資料館 名古屋市見晴考古学資料館 年報25－2007（平成19）年度事業報告書－ 名古屋市見晴考古学資料館 研究紀要－第10号／2008－		2008年 2008年
	名古屋市教育委員会 埋蔵文化財調査報告書57－国史跡 白鳥塚古墳（第1次～第5次発掘調査）－ 埋蔵文化財調査報告書68－白鳥1号墳・白鳥2号墳・正木町通跡（第21次）／玉ノ井通跡（第5次） 名古屋市文化財調査報告書74 尾張上々寺第12次発掘調査報告書 下寺林古墳（2号墳） 正木町通跡第30次発掘調査 平手町通跡第4次発掘調査報告書－西宮区歴史センター中央院（仮称）整備事業用地における埋蔵文化財発掘調査報告書－ 平手町通跡－クオオリライフ21世紀事業用地における第5次発掘調査報告書－	名古屋市文化財調査報告書72 名古屋市文化財調査報告書74 名古屋市文化財調査報告書 名古屋市文化財調査報告書 名古屋市文化財調査報告書 名古屋市文化財調査報告書 名古屋市文化財調査報告書 名古屋市文化財調査報告書	2007年 2008年 2008年 2008年 2007年 2008年 2008年
	清東総合開発株式会社／山崎土木株式会社 新築道路－グエークコート神宮西建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－		2008年
	大塚建設株式会社 新築道路発掘調査報告書（名古屋市中区栄一丁目13番地所在通跡の調査）		2008年
	愛知県教育委員会 愛知組文化財年報3 平成19年度 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業通跡連絡総合事業調査 詳細通跡分布調査報告書 内田町 通跡		2008年 2009年 2009年
岐阜	岐阜市教育委員会 平成17・18・19年度岐阜市内通跡発掘調査報告書 平成19年度岐阜市内通跡発掘調査報告書		2008年 2009年
	関市教育委員会 関市内通跡・埋蔵文化財発掘調査報告書 平成15～17年度		2008年
	ツルビヤセンター 平成19年度ツルビヤセンター年報 No.14 赤坂の食－飯が読・茶も 職ツルビヤ 長原フックデザイン－陣越のチカラ、笑った美－	第39回 ツルビヤセンター－企画展 第40回 ツルビヤセンター－企画展	2008年 2007年 2007年
	山南市教育委員会 大塚町下町通跡Ⅱ・初町通跡 荒尾南通跡Ⅱ 大井町埋蔵文化財調査報告書－平成18年度－ 大井町埋蔵文化財調査報告書／新田大井町埋蔵文化財調査報告書 岐阜市埋蔵文化財調査報告書Ⅱ・下土土地区画整理事業における都市計画道路Ⅱの調査山下土留建設に伴う調査発掘調査－ 岐阜市教育文化財調査事業調査報告書 第17巻	山南市埋蔵文化財調査報告書 第38巻 大井町埋蔵文化財調査報告書 第18巻 大井町埋蔵文化財調査報告書 第45巻	2008年 2008年 2007年 2009年
三重	三重県埋蔵文化財センター 古代の大塚屋を発見！－長谷町通跡発掘調査報告書－ 大内山の考古学 No.1 一般国史23号中務通跡埋蔵文化財発掘調査概報19 一般入館記録（第3次）－平成19年度近畿総合考古学大会報告書（岩倉岡部（岩倉）建設事業発掘調査－ 大内山（第3次）発掘調査報告書 計見通跡 第2次発掘調査報告書－一般国史24号松原・多良バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書 三重県埋蔵文化財調査報告書123-8		2007年 2007年 2008年 2008年 2007年 2007年

養生城跡・中道遺跡	三重県埋蔵文化財調査報告書289	2008年
一般国道23号中道遺跡（10工区）建設事業に伴う遺跡（第4次）発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書115-25	2008年
森崎遺跡発掘調査報告書～伊賀市大谷所在～	三重県埋蔵文化財調査報告書291	2008年
三足田遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書292	2008年
岸本遺跡（第2・3次）発掘調査報告書～三重県松阪市飯高町森所在～	三重県埋蔵文化財調査報告書294	2008年
平林東遺跡発掘調査報告書～多気郡多気町土所所在～	三重県埋蔵文化財調査報告書298	2008年
上知田遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書298	2008年
立花北遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書297	2008年
西肥田遺跡発掘調査報告書（第1・2・3・5次）	三重県埋蔵文化財調査報告書293	2008年
大原東遺跡発掘調査報告書～第2・3次調査～	三重県埋蔵文化財調査報告書295	2008年
大木・輪遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書300	2008年
一般国道23号中道遺跡（10工区）建設事業に伴う群田遺跡（第1・2次）発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書115-15	2008年
研究発表 第17-1号		2008年
南勢の考古資料①（世古遺跡・下津遺跡・ニッ津遺跡）～研究紀要第17-2号～		2008年
平成18年度三重県埋蔵文化財年報		2007年
埋蔵文化財発掘調査概報②～一般国道23号 中道遺跡～		2008年
鈴鹿市上箕田遺跡（第7次）発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書299	2008年
久居城下町遺跡・東園跡古墳	三重県埋蔵文化財調査報告書300	2008年
大見遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書304	2009年
九條遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書305	2009年
奥城寺遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書302	2009年
一般国道1号伊賀バイパス 埋蔵文化財発掘調査概報～小野城跡（第4次）～		2008年
一般国道47号東海環状自動車道～広山A遺跡、広山B遺跡発掘調査概報～	三重県埋蔵文化財調査報告書186-7	2009年
熊鷹江戸屋跡・近世御所跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書307	2009年
獅子居遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書308	2009年
下野田遺跡（第3次・第2次）、東中津路発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書303	2009年
里前遺跡（第4次）発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書115-28	2009年
里前遺跡（第5次）発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書115-27	2009年
中林・中道遺跡発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書115-36	2009年
東庄内A遺跡（第2次）発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告書309	2009年
平成19年度三重県埋蔵文化財年報		2009年
滝宮遺跡～近畿自動車道紀勢多気線（紀伊松島～紀勢大内山間）埋蔵文化財発掘調査報告書～	三重県埋蔵文化財調査報告書309	2009年
村竹ニッ津遺跡～一般国道47号松阪バイパス建設地区埋蔵文化財発掘調査報告書改訂～	三重県埋蔵文化財調査報告書123-9	2009年
西野田遺跡発掘調査報告書（第1・2・3次調査）		2009年
津市教育委員会		
津市文化財年報1～平成17年度～		2007年
殿村1号墳・殿村遺跡発掘調査報告書～三重県津市殿村～	津市埋蔵文化財調査報告書39	2005年
赤見城跡発掘調査報告書～三重県津市赤見町～	津市埋蔵文化財調査報告書40	2005年
織田城跡発掘調査報告書	津市埋蔵文化財調査報告書41	2005年
長瀬城跡発掘調査報告書	津市埋蔵文化財調査報告書42	2005年
川北遺跡・川北城跡発掘調査報告書	津市埋蔵文化財調査報告書43	2005年
多気北品土遺跡第29次発掘調査報告書～上多気八田地区第3次～	津市埋蔵文化財調査報告書12	2008年
平成18年度市内遺跡試掘・確認調査報告書	津市埋蔵文化財調査報告書8	2007年
津市の埋蔵文化財～平成18年度～		2008年
津市文化財年報～平成18年度～		2008年
津市安濃町 小野口遺跡（第2次）発掘調査報告書	津市埋蔵文化財調査報告書9	2008年
津市川方町 川方城跡発掘調査報告書	津市埋蔵文化財調査報告書11	2008年
まいふ津	津市埋蔵文化財センター情報 第3号	2008年
まいふ津	津市埋蔵文化財センター情報 第4号	2008年
藤堂高虎～その生涯と津の発展～	藤堂高虎公人前400年記念事業団誌	2008年
藤堂高虎の足あと	藤堂高虎公人前400年記念事業団誌	2008年
芸文連津市教育委員会		
松山遺跡発掘調査報告書～三重県安芸郡芸文町大字萩町～	芸文町埋蔵文化財調査報告書4	2005年
雲林院青木遺跡発掘調査報告書～三重県安芸郡芸文町大字雲林院～	芸文町埋蔵文化財調査報告書5	2005年
四日市市教育委員会		
久留保遺跡3	四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書 40	2008年
北山寺遺跡4	四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書 41	2008年
北山寺遺跡2	四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ	2008年
亀山市教育委員会		
鈴鹿関 第3号	亀山氏文化財調査情報 Vol.31	2008年
明日へつなぐ～平成18年度亀山市文化財保護年報～		2008年
松阪市教育委員会		
土村遺跡・三重県松阪市下村町所在～平成18年度松阪市文化財センター年報～	松阪市埋蔵文化財調査報告書7	2008年
松阪市文化財センター	松阪市埋蔵文化財調査報告書 8	2008年
「松阪市埋蔵文化財報告書 8 西野田遺跡（第4次）発掘調査報告書」	松阪市埋蔵文化財調査報告書 9	2009年
「松阪市埋蔵文化財報告書 9 天守遺跡」		2009年
富山県		
富山県教育委員会		
富山県埋蔵文化財調査報告書 第8集		2008年
富山県埋蔵文化財調査報告書 第10集		2009年
富山県埋蔵文化財調査報告書 第11集		2009年
富山県埋蔵文化財調査報告書 第12集		2009年
大津市教育委員会		
下郡木地区旧津守地改良総合整備事業（一般区画整理）に係る発掘調査報告書～下郡木天神山遺跡・馬場遺跡・高月遺跡～	大津市埋蔵文化財調査報告書（44）	2008年
京江川河川開通発掘調査報告書Ⅱ～中道遺跡～	大津市埋蔵文化財調査報告書（45）	2008年
滋賀県教育委員会		
「特別史跡安土城跡発掘調査報告書Ⅰ～大下道、百々橋口遺、安土山南面の調査～」		2009年
「特別史跡安土城跡発掘調査報告書Ⅱ～主郭、御手道の調査および堀跡～」		2009年
「特別史跡安土城跡環境整備事業報告書ⅩⅦ～百々橋～大手口間南面山削部の工事～」		2009年
「安土城・織田信長関連文書調査報告18 安土寺文書目録・木願家文書目録」		2009年
「滋賀県中近世城郭関係資料集2 安土城資料集2」号		2009年
「調査報告安土城跡調査研究年報」2007年度		2009年
「調査報告安土城跡調査研究年報」2007年度		2009年
京都府		
財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター		
京都府埋蔵文化財情報 第105号		2008年
京都府埋蔵文化財情報 第106号		2008年
京都府埋蔵文化財情報	第107号	2008年
福岡市教育委員会		
福岡市埋蔵文化財調査報告書	第55集	2008年

福岡市埋蔵文化財調査報告書	第56集	2008年
大牟田市教育委員会		
中の遺跡、平池遺跡、中の池遺跡第13次調査、平池遺跡第3次調査、総合運動公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書		2008年
京都橘大学文庫		
京都橘大学 文化財調査報告2007-牧野幸雄博士・熊・谷3・4号		2008年
同志社大学歴史資料		
同志社大学歴史資料 館蔵 第11号		2008年
財団法人 長岡市埋蔵文化財センター		
長岡市埋蔵文化財センター年報 平成19年度		2009年
大原市		
大原市教育委員会		
堺町遺跡 (S K 929) 発掘調査概要報告-堺町車之町西1丁所在-	堺市埋蔵文化財調査報告書 第117冊	2008年
平成18年度市内遺跡発掘調査報告書	堺市埋蔵文化財調査報告書 第118冊	2008年
丹上遺跡 (TNJ-1) 発掘調査概要報告-美原区丹上所在-	堺市埋蔵文化財調査報告書 第119冊	2008年
大田遺跡 (DHT-3) 発掘調査概要報告-美原区山崎所在-	堺市埋蔵文化財調査報告書 第120冊	2008年
余部日置遺跡 (HKS-24) 発掘調査概要報告-美原区北余部所在-	堺市埋蔵文化財調査報告書 第121冊	2008年
野々井西遺跡 (NNIN-1)・陶器窯跡群 (ON231) 発掘調査概要報告-南区稲庭3丁所在-	堺市埋蔵文化財調査報告書 第122冊	2008年
総務局教育委員会		
特別史跡松崎城跡 石垣総合調査報告書		2008年
南あわじ市教育委員会		
南あわじ市埋蔵文化財発掘調査年報1-2000~2004年度 埋蔵文化財発掘調査-	南あわじ市文化財調査報告書 第1集	2008年
南あわじ市埋蔵文化財発掘調査年報1-平成17・18年度調査-		2008年
尼崎市教育委員会		
平成18年度国庫補助事業 尼崎市内遺跡 発掘調査等概要報告書	尼崎市文化財調査報告 第37集	2008年
尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成19年度・11・12・13・14年度 - (尼崎城跡第6次、生津遺跡第2次、武庫津遺跡第58・60次、塚口城跡第9次、山口部遺跡試掘、第1次調査報告)		2008年
尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成19年度 遺跡分布地区及び手引		2008年
大手前大学文学部		
兵庫津の総合的調査-兵庫津研究の最新成果-	大手前大学文学部研究所・リサーチ・センター研究報告 第7号	2008年
芦屋市教育委員会		
八十塚古墳群・岩ヶ平切遺跡・岩ヶ平第45・46・58号墳と第108号墳の発掘調査成果-月形遺跡発掘調査報告書 第89号墳-都市計画道路山手線沿道事業に伴う発掘調査-	芦屋市文化財調査報告 第60集	2007年
新田遺跡 (第25号墳) 発掘調査報告書-弥生時代前期水田跡の北限域の状況-	芦屋市文化財調査報告 第60集	2007年
芦屋川水車跡発掘調査報告書-城山古墳群第30号墳と芦屋川水車跡跡の発掘調査成果-	芦屋市文化財調査報告 第71集	2007年
平成18年度 (国庫補助事業)-三木市下遺跡(第2号)-御川大塚遺跡(第1号)伊豆塚遺跡(第2号)-岩ヶ平切遺跡(第12号)伊豆塚遺跡(第13号)伊豆塚遺跡(第14号)	芦屋市文化財調査報告 第73集	2008年
芦屋市山手線沿道事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要-総集編-	芦屋市文化財調査報告 第74集	2008年
神戸市教育委員会		
神戸市埋蔵文化財年報		2008年
堀田北山東古墳発掘調査報告書		2008年
五軒町遺跡 発掘調査報告書 第13次調査-		2008年
神戸区池田-南木町型遺跡(堀田北山東古墳)-		2008年
白水塚古墳発掘調査報告書		2008年
二堂町遺跡発掘調査報告書第14~21次調査-新長田駅南第2地区震災復興第二種市地再開発事業に伴う-		2008年
大塚町遺跡第2次発掘調査報告書-新長田駅南第2地区震災復興第二種市地再開発事業(若松)-に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-		2007年
郡家遺跡第83次発掘調査報告書		2007年
御影町古墳群第14次発掘調査報告書-共同住宅建設に伴う発掘調査-		2007年
兵庫津遺跡第42次発掘調査報告書-神戸市兵庫区西仲町における共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査-		2008年
兵庫津遺跡第45次発掘調査報告書		2008年
橋・荒田町遺跡-第40・41次発掘調査報告書-		2008年
ひかしなだ、などの木と森		2008年
神戸市埋蔵文化財分布図		2008年
株式会社 牧歌舎		
「大塚山見」-中之島界隈風景録-		2008年
伊丹市教育委員会		
伊丹市埋蔵文化財調査報告書	伊丹市埋蔵文化財調査報告書 第33集	2008年
兵庫県伊丹市 御影町遺跡ハック調査報告書-第8・9・10次調査-	伊丹市埋蔵文化財調査報告書 第34集	2008年
伊丹市埋蔵文化財調査報告書 調査項目・復元事業に伴う発掘調査-有間城跡-伊丹郡町遺跡第205・217・231次調査-	伊丹市埋蔵文化財調査報告書 第35集	2007年
総務局教育委員会		
特別史跡松崎城跡 石垣総合調査報告書		2008年
南あわじ市教育委員会		
南あわじ市埋蔵文化財発掘調査年報1-2000~2004年度 埋蔵文化財発掘調査-	南あわじ市文化財調査報告書 第1集	2008年
奈良県		
財団法人 奈良大和古代文化研究協会		
研究紀要 第13集		2008年
奈良文化財研究所		
キタ古墳群(一十二・子・丑・寅)-	春季特別展示図録	2008年
遺跡の教育館に関する活用-平成18年度 遺跡整備・活用研究会(第15回)報告書-		2008年
埋蔵文化財ニュース 130		2008年
埋蔵文化財ニュース 131		2008年
埋蔵文化財ニュース 132		2008年
埋蔵文化財ニュース 133		2008年
「日本各地、各時代の発掘調査報告書」-日本・図録編(別冊)データ編		2008年
Fundamentals of Zooarchaeology in Japan and East Asia - Akira Matsui (和訳:日本と東アジアにおける動物考古学の原理-松井 章)		2008年
奈良文化財研究所紀要2008		2008年
埋蔵文化財ニュース108-隠れた古墳2 中・小型哺乳動物骨格図譜-		2007年
埋蔵文化財ニュース113-大型哺乳動物骨格図譜-		2007年
埋蔵文化財ニュース115-半馬骨格図譜-		2007年
埋蔵文化財ニュース120-鳥類骨格図譜-		2007年
埋蔵文化財ニュース122-埋蔵考古学6 魚類骨格図譜、7 人骨図譜-		2007年
(財) 奈良文化財協会		
桜井市 平成18年度国庫補助による発掘調査報告書		2008年
赤尾塚・谷古墳群-鳥見山北麓における古墳群の調査-		2008年
春季特別展「那志の風景 一考古学と文化からみる古墳時代の那志風景」-		2008年
桜井市立埋蔵文化財センター		
平成20年度秋季特別展 色から見た考古学~考古学をまわりの5色のキーワード~	桜井市立埋蔵文化財センター 特別展	2008年
「桜井の古墳群-古墳時代後期に遡る小さな古墳たち」-		2009年
王寺町教育委員会		
片岡王寺第6次 発掘調査報告書	王寺町文化財調査報告書 第8集	2008年
天理大学(文学部歴史文化学系考古学・民俗学研究室)		
「故事」	天理大学考古学・民俗学研究室紀要 第12冊	2008年
近頃町教育委員会		
近頃町内遺跡発掘調査報告-平成18年度(2004)-	近頃町文化財調査報告 第3集	2008年

松江市東部における古墳の調査一 瀬所古墳・観音山古墳群・船田古墳群 (附 上竹矢7号墳・遊佐寺裏山1号墳)	2004年
島根県発掘調査一 第1集	2000年
5反古遺跡一 古代出雲歴史博物館建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書一	2004年
青銅器の調査報告書一 (附録)	島根県古代文化センター調査研究報告書12
新井時代の遺跡調査	島根県古代文化センター調査研究報告書13
近山古墳群の調査	島根県古代文化センター調査研究報告書16
青銅器の調査報告書一 武器形青銅器一	島根県古代文化センター調査研究報告書19
大井1号墳発掘調査報告書	島根県古代文化センター調査研究報告書30
発掘付大井と大井古墳一 出雲・上野・東海地域の比較研究一	島根県古代文化センター調査研究報告書31
津和野町教育委員会	
本郷地区発掘調査報告書一 土居九郎跡・本郷遺跡・大堀遺跡一	津和野町埋蔵文化財報告書 第6集
山崎道 (野矢山跡・徳林山跡) 発掘調査報告書	津和野町埋蔵文化財報告書 第7集
出雲市教育委員会	
出雲地区一 羽根遺跡発掘調査報告書一 平成16～18年度の調査一	出雲市の文化財報告 1
小糸遺跡一 神戸川 (赤川) 上城基跡河川改修事業埋蔵文化財発掘調査報告書一	出雲市の文化財報告 2
志田遺跡 (大宮遺跡) 一 都市計画道路「出雲市駅前白枝線」街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	出雲市の文化財報告 3
平成19年度 出雲市文化財調査報告書一 北島国造家石垣調査・西谷六郎墓第3支那・日御崎神社境内遺跡一	出雲市の文化財報告 4
史跡田嶋原井家たたら製鉄遺跡保存管理計画書	
島根県教育庁埋蔵文化財調査センター	
史跡田嶋原井家一 林原遺跡一	風土記の丘内遺跡発掘調査報告書18
原田遺跡(4)	尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書11
島根県出雲市 東方本郷遺跡・山崎遺跡(4) (国・市) 国道431号道路改修事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書6	2008年
島根県子力郷新宮子遺跡発掘調査報告書一 恵谷古墳群・岩鼻古墳群・上武島山山跡・砥石遺跡・沢下遺跡・元宮遺跡一	2008年
中津遺跡・ナカノ遺跡	一般国道9号出雲バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書9
9号山遺跡	一般国道9号上津原峠道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書10
沖津遺跡・市光古墳遺跡一 一般国道9号(益田道路)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1	2008年
沖津遺跡・市光古墳遺跡一 中世の大規模集落遺跡と弥生時代の墳丘墓一	一般国道9号(益田道路)建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5
玉葉寺遺跡・赤井山4号墳・関所東遺跡	一般国道出雲インター線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ
南外2号墳・藤島遺跡	国道485号道路改修事業(松江東五ノ森道路) 建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1
島根県教育庁埋蔵文化財調査センター 年報16～平成19年度一	2008年
古代文化の概観 出雲一史跡 出雲国跡一	風土記の丘内遺跡発掘調査報告書18
オホのいさき 総集編一 尾原ダム地区の遺跡一	2008年
水海のほとり	一般国道インター線(旭川宮工区・浅瀬工区) 建設に伴う発掘調査情報Ⅱ
西川津遺跡・島崎古墳	松江市埋蔵文化財報告書 第1集
石見川の言伝一特別号一	2008年
松江市教育委員会	
家下遺跡・中小路遺跡一 経堂体育館敷地埋蔵文化財調査報告書一 (城田・安室地区) に伴う発掘調査報告書一	2008年
松江市教育委員会・松江市人権教育文化振興事業団	
一般国道432号道路改良工事予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ一 小原遺跡一	松江市文化財調査報告書 第117集
田中2号墳発掘調査報告書	松江市文化財調査報告書 第118集
平成20年度野田地区たなめ等整備事業に伴う戸崎遺跡発掘調査報告書	松江市文化財調査報告書 第119集
松江市島根県佐々木地区工区(改良) 工事に伴う大井山山跡発掘調査報告書	松江市文化財調査報告書 第120集
津和野町教育委員会	
陶器製4号墳一 津和野デジタルテレビ中継局送信設備工事に伴う発掘調査報告書一	津和野町埋蔵文化財報告書 第4集
西谷地区発掘調査報告書(出雲の場跡・殿河内遺跡・サ・向新田遺跡)	津和野町埋蔵文化財報告書 2014
広島県	
広島市教育委員会	
広島市加茂町 加茂倉田遺跡発掘調査報告書一 市道駅家加茂道路改良事業に伴う発掘調査報告書一	2007年
広島市三ツ丸町地区 福山城跡一 福山駅前遺跡埋蔵文化財調査報告書一 (地下遺跡) に伴う第1次発掘調査報告書一	2007年
福山市内遺跡発掘調査報告書一 2006年度(平成18年度)一	2008年
新築加茂地区(内野地区)埋蔵文化財調査事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書一 加茂2号墳・長石古墳・塚原2号古墳・石仏古墳群一	1999年
加茂2号墳・塚原2号古墳・石仏古墳群工事に伴う発掘調査報告書一	1997年
千田ノ前古墳一 宅地造成工事に伴う発掘調査報告書一	2004年
尾市第1号墳発掘調査報告書一 2002年度(平成14年度)～2007年度(平成19年度)一	2008年
広島大学	
帝釈城遺跡発掘調査年報XⅡ	2008年
古代山崎道と神辺平野の文化財	2008年
弥生時代における初期集落の集落跡とその流通過程の解明	2008年
財団法人 東広島市教育文化振興事業団	
史跡三ツ丸城遺跡発掘調査報告書一 史跡三ツ丸城遺跡保存整備事業に係る発掘調査一	文化財センター調査報告書 第42冊
大井山遺跡発掘調査報告書一 都市計画道路沿線道路改良事業に係る発掘調査一	文化財センター調査報告書 第50冊
高取2号墳・3号墳発掘調査報告書一 一般国道375号(東広島道路)道路改良事業に係る発掘調査一	文化財センター調査報告書 第60冊
阿保のまはらば Vol.37	2008年
阿保のまはらば Vol.38	2008年
財団法人 広島県文化財センター	
広島城跡保存館地区	2007年
広島城跡一 司法書士会館新築地発掘調査報告書一	2007年
尾山山跡発掘調査報告書	2009年
研究連絡誌Ⅱ一 平成18年度一	2007年
研究連絡誌Ⅲ一 平成19年度一	2008年
財団法人 広島県教育事業団	
中国自動車道尾道市江津線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅱ)一 北野山遺跡一	財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書 第27集
『金井道遺跡』	財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書 第28集
山口県	
山口大学埋蔵文化財資料館	
山口大学埋蔵文化財資料館年報一 平成17年度一	2007年
てらこや埋蔵文化財センター	2007年
てらこや埋蔵文化財センター	2007年
てらこや埋蔵文化財センター	2008年
てらこや埋蔵文化財センター	2008年
山口県史編纂室	
山口県史	2008年
山口県埋蔵文化財センター	
古毛遺跡	山口県埋蔵文化財センター調査報告 第63集
西尾山山跡の山崎遺跡Ⅱ	山口県埋蔵文化財センター調査報告 第64集
道祖・本道祖	山口県埋蔵文化財センター調査報告 第65集
上り熊遺跡Ⅰ	山口県埋蔵文化財センター調査報告 第66集
国報 第21号一山口県埋蔵文化財センター年報(平成19年度)一	2008年
山口県立歴史博物館・瀬上記念館	
堀家集 瀬上朝郎の第一集一 堀家名品一 中国・朝鮮海図鑑	2008年
関館記念Ⅰ	1996年

[illegible]

久米高橋道路-67次・68次調査（平成18年度国庫補助市内道路発掘調査報告書2）	松山市文化財調査報告書132	2009年
柳崎島本道路-12次・13次調査（平成17・18年度国庫補助市内道路発掘調査報告書）	松山市文化財調査報告書131	2009年
柳崎西反路道路-14次・16次調査（平成18年度国庫補助市内道路発掘調査報告書1）		2009年
伊方町教育委員会	佐田町平島資料調査報告書 第2集	2007年
伊方町史・愛媛県埋蔵文化財調査センター		2009年
世田山1号墳・成城寺権太夫・成城寺3・4号墳・松本池遺跡・長瀬1遺跡2次一般道歩兵衛作生川線道路整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書	第140集	2007年
矢野大町遺跡-一般道今治市原町道路改築事業に伴う埋蔵文化財調査報告書V	第142集	2007年
矢野大町遺跡2次-浅川中河川改築事業に伴う埋蔵文化財調査報告書II	第141集	2007年
湯町遺跡2次-松山地蔵堂行幸地埋蔵文化財発掘調査委託事業に伴う埋蔵文化財調査報告書	第143集	2008年
大久保遺跡（大久保・竹成地区・E地区）・大関遺跡・松ノ丁遺跡（1次・2次）一般国道11号小松バイパス埋蔵文化財調査報告書	第2集 第144集	2008年
永納山東1遺跡・永納山東2遺跡-一般国道196号今治小松道路埋蔵文化財調査報告書	第4集 第145集	2008年
富川宮・森遺跡-主要地方道北条玉川線整備に伴う埋蔵文化財調査報告書	第147集	2008年
堀内寺遺跡2次-一般国道坂井山道路道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査報告書3	第148集	2008年
紀要集 第8号		2008年
愛比光一平成19年度 年報		2008年
今治市教育委員会		
市内遺跡試掘確認調査報告書X X V	今治市埋蔵文化財調査報告書 第87集	2008
市内遺跡試掘確認調査報告書X X VI	今治市埋蔵文化財調査報告書 第88集	2008年
豆田神社山・2号墳	今治市埋蔵文化財調査報告書 第89集	2008年
史跡 能島城跡-平成18年度能島東部海岸調査報告書	今治市埋蔵文化財調査報告書 第90集	2008年
史跡 能島城跡-平成18年度能島東部海岸調査報告書	今治市埋蔵文化財調査報告書 第91集	2008年
妙見山一号墳		2008年
宇和島市教育委員会		
池の内遺跡-平成17～18年度 愛媛県元気な地域づくり交付金事業（高度農用地区整備事業）に伴う発掘調査報告書	宇和島市埋蔵文化財報告書1	2007年
永年寺城跡 第2次調査-KDD株式会社読売電話用管地帯建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	宇和島市埋蔵文化財報告書3	2007年
若松-愛媛県宇和島市津島町伝統的建造物保存対策調査報告書		2007年
愛媛大学 埋蔵文化財調査室		
愛媛大学埋蔵文化財調査室年報-2006年度		2008年
愛媛大学埋蔵文化財調査室年報-2007年度		2009年
西条市教育委員会		
「石段」太山山遺跡1-水門・城門・内部施設等確認調査報告書-1		2009年
高知県		
金子遺跡-第六小学校屋内外体育館及びプール改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-高知市文化財調査報告書 第32集		2008年
(財) 高知埋蔵文化財調査センター		
ミロノ遺跡-国道195号道路改築工事に伴う発掘調査報告書	高知埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第99集	2007年
合谷野遺跡-県道高知東インター線道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	高知埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第100集	2007年
北ノ入遺跡-渡合川河口堰高事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1	高知埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第101集	2008年
西野1遺跡-1号墳埋蔵文化財調査報告書1（東部自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書1）	高知埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第102集	2008年
坂本遺跡-中村町北遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書IV	高知埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第103集	2008年
口前・小遺跡-南河内遺跡建設工事に伴う発掘調査報告書1（東部自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書1）	高知埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第104集	2008年
坪ノ内遺跡1-四国横断自動車道（須崎～窪川間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	高知埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第105集	2008年
西山城跡-四国横断自動車道（須崎～四万十市間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	高知埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第106集	2008年
高知埋蔵文化財センター年報 第17号		2008年
高知大学文学部考古学研究室		
大元寺古墳発掘調査報告書-総括編-	高知大学考古学調査研究報告書 第5集	2008年
福岡県		
筑前町教育委員会		
下ヶ野遺跡1	筑前町文化財調査報告書 第5集	2007年
下ヶ野遺跡2	筑前町文化財調査報告書 第6集	2007年
千賀野遺跡	筑前町文化財調査報告書 第7集	2007年
杵築町教育委員会		
丸山	杵築町文化財調査報告書 第27集	2008年
豊前市教育委員会		
大村石塚遺跡	豊前市文化財調査報告書 第22集	2006年
中村山遺跡	豊前市文化財調査報告書 第23集	2007年
志免町教育委員会		
志免集古学等学芸会	志免町文化財調査報告書 第17集	2008年
福岡市教育委員会		
徳永古墳群	第913集	2006年
新崎26	第914集	2006年
羽根戸古墳群6	第915集	2006年
藤崎遺跡17	第916集	2006年
原崎12	第917集	2007年
井沢古墳群15	第918集	2007年
有田・小田部43	第919集	2007年
有田・小田部44	第920集	2007年
飯倉A遺跡2	第921集	2007年
飯倉A遺跡4	第922集	2007年
井沢古墳群16	第923集	2007年
今宿江原6	第924集	2007年
大塚AⅡ	第925集	2007年
香椎地区遺跡確認調査報告書	第926集	2007年
金武4	第927集	2007年
上広瀬遺跡2	第928集	2007年
新勢部3遺跡3	第929集	2007年
ツノノ遺跡群3	第930集	2007年
山王遺跡	第931集	2007年
下月原C遺跡Ⅱ	第932集	2007年
常田古墳群6	第933集	2007年
高橋遺跡	第934集	2007年
那珂45	第935集	2007年
那珂46	第936集	2007年
那珂47	第937集	2007年
那珂48	第938集	2007年
西新町遺跡9	第939集	2007年
博多110	第940集	2007年
博多111	第941集	2007年
博多112	第942集	2007年
博多113	第943集	2007年

[illegible]

上大北地区に所管する事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書XIV 牛堀梅田・本堂遺跡群～自然化学分析編～ 大野城市文化財調査報告書 第87集 2008年

九州国立博物館

東風西声 九州国立博物館紀要 第3号 2008年
 秋瀬誕生図～受け継がれた朝野伝説の名品～ 九州国立博物館紀要 第3号 2008年
 博物館と文化財修理～九州国立博物館文化財保存修復施設開設3周年記念～ 特集展覧 2008年
 第33回アジア文化財保存修理シンポジウム～文化をつたえる紙の報告書 2008年
 天にささげる第一級神時代の装束 2008年
 「京都五山」神の文化展 足利義満六百年新記念誌 2007年
 国史 大徳巻 2008年
 島津の国史と寛政の時代～東京大学史料編纂所200点の世界～ 2008年
 特別展 国史 天神さま～寛政の時代と天宮の至宝～ 2008年
 天神さま新書版 (特別展 国史 天神さま～寛政の時代と天宮の至宝～) 2008年
 特別展 工芸のみ 伝説と創造～九州・沖縄の作家たち～ 2008年
 きあ～はくの絵本常設展 2008年
 きあ～はくの絵本2建博 2008年

福岡市教育委員会

美野C遺跡5～美野C遺跡第12次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第970集 2008年
 有田・小田部45 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第971集 2008年
 飯合F遺跡2～飯合F遺跡第4次・第5次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第972集 2008年
 井尻B遺跡17～井尻B遺跡第30次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第973集 2008年
 井尻B遺跡18～井尻B遺跡第32次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第974集 2008年
 井相田C遺跡6～井相田C遺跡第7次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第975集 2008年
 瀬田本原遺跡6～瀬田本原遺跡群第10次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第976集 2008年
 瀬田本原遺跡9～瀬田本原遺跡群第11次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第977集 2008年
 五十川遺跡4～五十川遺跡群第15次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第978集 2008年
 重宿下遺跡4～重宿下遺跡群第3次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第979集 2008年
 戸町遺跡1～戸町遺跡群第5次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第980集 2008年
 町原46～町原遺跡群第112次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第981集 2008年
 町原49～町原遺跡群第113次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第982集 2008年
 町原50～町原遺跡群第115次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第983集 2008年
 西新町遺跡10～第19次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第984集 2008年
 西新町遺跡11～第21次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第985集 2008年
 野多113遺跡2～野多113遺跡群第3次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第986集 2008年
 野多遺跡5～野多遺跡群第12次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第987集 2008年
 博多118～博多遺跡群第157次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第988集 2008年
 博多119～博多遺跡群第158次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第989集 2008年
 博多120～博多遺跡群第160次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第990集 2008年
 博多121～博多遺跡群第161次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第991集 2008年
 博多122～博多遺跡群第164次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第992集 2008年
 博多123～博多遺跡群第165次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第993集 2008年
 博多124～博多遺跡群第167次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第994集 2008年
 博多125～博多遺跡群第168次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第995集 2008年
 船越32～船越遺跡 第53次調査～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第996集 2008年
 船越33～船越遺跡 第53次調査～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第997集 2008年
 船越34～船越遺跡 第54次調査～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第998集 2008年
 船越35～船越遺跡 第57次調査～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第999集 2008年
 比恵50～比恵遺跡群第106次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1000集 2008年
 比恵51～比恵遺跡群第107次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1001集 2008年
 比恵52～比恵遺跡群第109次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1002集 2008年
 比恵53～比恵遺跡群第110次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1003集 2008年
 比恵54～比恵遺跡群第112次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1004集 2008年
 福岡城跡15～城内整備に伴う確認調査および中環の緊急調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1005集 2008年
 福岡城跡跡2～第1次・2次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1006集 2008年
 南八幡遺跡群8～南八幡遺跡群 第15次調査～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1007集 2008年
 三宅B遺跡1～三宅B遺跡群第1次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1008集 2008年
 今宿五郎江1～今宿五郎江遺跡群第10次調査報告(古)～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1009集 2008年
 安原遺跡群～第9次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1010集 2008年
 九州大学統合移住用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 元岡・豊原遺跡群11～第29・30・36次調査報告～福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1011集 2008年
 九州大学統合移住用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 元岡・豊原遺跡群12～第37次調査報告～福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1012集 2008年
 九州大学統合移住用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 元岡・豊原遺跡群13～第39次調査報告の巻2～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1013集 2008年
 糸永原6～糸永原遺跡群 第9次調査～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1014集 2008年
 中津原9～大徳B遺跡群第10次調査報告、橋手遺跡群第1次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1015集 2008年
 金沢5～金沢地区農村集落総合整備事業関係調査報告5～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1016集 2008年
 古式跡群21～金沢地区農村集落総合整備事業関係調査報告6、大北遺跡群第1次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1017集 2008年
 古式跡群X X～金沢地区農村集落総合整備事業関係調査報告 14、福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1018集 2008年
 市道併合併合建設に伴う発掘調査報告書 V 五十川遺跡第10次・11次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1019集 2008年
 徳永古墳群5～徳永古墳群第1群第4次調査報告書～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1020集 2008年
 町原遺跡群51～第103次調査報告～ 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1021集 2008年
 福岡市埋蔵文化財年報vol.21～平成18(2006)年度版～ 2008年

宇美町教育委員会

上島遺跡3～上島遺跡第3次発掘調査報告書～ 宇美町文化財調査報告書 第17集 2009年

小郡市教育委員会

寺嶋遺跡5～福岡県小郡市寺嶋遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第208集 2007年
 津古宮原遺跡群VI～福岡県小郡市津古宮原遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第210集 2008年
 小郡遺跡11・12・13～福岡県小郡市小郡遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第224集 2007年
 三次寺小島遺跡群I～福岡県小郡市三次寺小島遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第224集 2007年
 三次寺小島遺跡群II～三河寺地区埋蔵文化財調査報告書～ 小郡市文化財調査報告書 第233集 2007年
 新松原遺跡群I～福岡県小郡市松原遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第234集 2008年
 寺嶋遺跡群X埋蔵文化財調査報告書 小郡市文化財調査報告書 第235集 2008年
 力武内遺跡群8・9・10～福岡県小郡市力武・三河寺遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第236集 2008年
 福室町遺跡7～福岡県小郡市福室町遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第237集 2008年
 小郡阿部地遺跡2～福岡県小郡市小郡阿部地遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第238集 2008年
 福室町遺跡5～福岡県小郡市福室町遺跡の調査報告～ 小郡市文化財調査報告書 第240集 2008年

福岡市博物館

平成17年度収蔵 収蔵品目録 2008年
 研究紀要 第18号 2008年
 年報15(平成18年度) 2008年

筑前町教育委員会

東御堂遺跡～福岡県朝倉郡筑前町三波所在遺跡調査報告～ 筑前町文化財調査報告書 第8集 2008年

豊前市教育委員会教育課(文化芸術課)	『久路十六田遺跡・瀬原寺塚遺跡』	豊前市文化財調査報告書第24集	2009年
	『史跡 求菩提山 求菩提山遺跡寺』		2009年
	中津路群集/伊中遺跡-福岡県宮若市宮若寺所在遺跡群の調査- 東道寺遺跡群宮若寺-福岡県宮若市宮若寺所在遺跡群の調査-	宮若市文化財調査報告書 第1集 宮若市文化財調査報告書 第2集	2007年 2008年
福岡市教育委員会	朝田山見遺跡Ⅳ-朝田市朝田字高見山所在遺跡の調査-	朝田市文化財調査報告書 第8集	2007年
	永永古池遺跡Ⅳ-福岡県朝田市永永山所在遺跡第7次の調査-	朝田市文化財調査報告書 第2集	2007年
	志波原遺跡-福岡県朝田市志波山所在遺跡の調査-	朝田市文化財調査報告書 第3集	2008年
福岡市教育委員会	朝田山見遺跡Ⅳ-福岡県朝田市朝田字高見山所在遺跡第2次の調査-	朝田市文化財調査報告書 第4集	2008年
	甘木歴史資料館収蔵品目録	第1集	2006年
	甘木歴史資料館収蔵品目録	第2集	2006年
上毛町教育委員会	遺跡	第47号	2008年
	下野原伊勢遺跡Ⅱ(遺構編)/下野原色遺跡-朝田郡伊勢町成基寺(唐原地区)に伴う埋蔵文化財調査報告書-	上毛町文化財調査報告書 第7集	2008年
	赤木地区遺跡Ⅱ-朝田郡地蔵寺(赤木地区)埋蔵文化財調査報告書-	上毛町文化財調査報告書 第8集	2008年
上毛町教育委員会	下野原伊勢遺跡Ⅱ-朝田郡地蔵寺(赤木地区)埋蔵文化財調査報告書-	上毛町文化財調査報告書 第14集	2009年
	遺跡・城-熊野寺アツタ基地区域に伴う埋蔵文化財調査報告書-	上毛町文化財調査報告書 第15集	2009年
	熊野寺古墳群-第3次調査-	上毛町文化財調査報告書 第16集	2009年
上毛町教育委員会	土倉地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第17集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第18集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第19集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第20集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第21集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第22集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第23集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第24集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第25集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第26集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第27集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第28集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第29集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第30集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第31集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第32集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第33集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第34集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第35集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第36集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第37集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第38集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第39集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第40集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第41集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第42集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第43集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第44集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第45集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第46集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第47集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第48集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第49集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第50集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第51集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第52集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第53集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第54集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第55集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第56集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第57集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第58集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第59集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第60集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第61集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第62集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第63集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第64集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第65集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第66集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第67集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第68集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第69集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第70集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第71集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第72集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第73集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第74集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第75集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第76集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第77集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第78集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第79集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第80集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第81集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第82集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第83集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第84集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第85集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第86集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第87集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第88集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第89集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第90集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第91集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第92集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第93集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第94集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第95集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第96集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第97集	2009年
上毛町教育委員会	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第98集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第99集	2009年
	赤木地区遺跡	上毛町文化財調査報告書 第100集	2009年

松浦市黒島海浜道路～平成13・14年度 黒島町神崎港改修工事に伴う緊急調査報告書	松浦市文化財調査報告書 第2集	2008年
大村市教育委員会		
今富屋跡-携帯電話無線基地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	大村市文化財調査報告書 第32集	2008年
諫早市教育委員会		
貝津屋跡道路	諫早市文化財調査報告書 第21集	2008年
丸尾古墳	諫早市文化財調査報告書 第22集	2008年
大村市教育委員会		
市内道路発掘調査情報	大村市文化財調査報告書 第34集	2009年
「富の原道路」市道富の原3号線道路改良工事に伴う発掘調査報告書	大村市文化財調査報告書 第33集	2009年
郡城市教育委員会		
「郡城市山ノ内地区遺跡詳細分布調査報告書」	郡城市文化財調査報告書 第94集	2009年
長崎県教育庁佐世保文化財調査事務所		
「一級国道497号佐世保市道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」Ⅱ 門前遺跡	長崎県佐世保文化財調査事務所調査報告書 第19集	2009年
「一級国道497号佐世保市道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」Ⅴ 門前遺跡	長崎県佐世保文化財調査事務所調査報告書 第3集	2009年
「一級国道497号佐世保市道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」Ⅵ 門前遺跡	長崎県佐世保文化財調査事務所調査報告書 第4集	2009年
雲仙市教育委員会		
龍王遺跡Ⅲ	雲仙市文化財調査報告書 第3集	2008年
郡遺跡	雲仙市文化財調査報告書 第4集	2008年
伊古遺跡	雲仙市文化財調査報告書 第5集	2008年
佐賀県教育委員会		
佐賀県内道路確認調査報告書26	佐賀県文化財調査報告書 第174集	2008年
熊本県		
八代市立博物館東条の森ミュージアム		
松井文庫所蔵古文書調査報告書 12		2008年
熊本県教育委員会		
池辺寺跡Ⅲ-平成17年度発掘調査報告書		2007年
池辺寺跡Ⅳ-平成18年度発掘調査報告書		2008年
大江遺跡群Ⅷ-大江遺跡群第107次調査区発掘調査報告書		2007年
八ノ坪遺跡Ⅲ		2007年
神水遺跡Ⅲ-第40次発掘調査報告書		2007年
二本木遺跡群Ⅱ-二本木遺跡群第13次調査区発掘調査報告書		2007年
二本木遺跡群Ⅲ-二本木遺跡群第36次調査区発掘調査報告書		2007年
郡山町内道路調査、野口1期建設に伴う埋蔵文化財調査報告書		2005年
熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書-平成17年度		2007年
熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書-平成18年度		2007年
熊本市埋蔵文化財調査年報 第9号-平成17年度		2007年
史跡 池辺寺跡 保存整備基本構想書		2008年
熊本大学埋蔵文化財研究室		
熊本大学文学部考古学研究室報告	第43集	2008年
山鹿市教育委員会		
方保東原遺跡(9)-出土文化財管理センター建設に伴う発掘調査報告書	山鹿市文化財調査報告書 第6集	2008年
方保東原遺跡10-平成16年度国庫補助事業 遺跡内宮殿建築調査報告書	山鹿市文化財調査報告書 第7集	2008年
南阿蘇市教育委員会		
史跡 豊前市市南宮原跡保存整備事業報告書	南阿蘇市文化財調査報告 第11集	2008年
熊本市教育委員会		
今村遺跡-田代地区農業廃棄物処理施設建設事業に伴う埋蔵文化財調査報告書-縄文時代・古代・中世・近世遺跡の調査 新良村文化財調査報告 第7集		2008年
熊本市教育委員会		
南北山田遺跡・曲田上原遺跡-花形北部地区は境整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	熊本市文化財調査報告書 第3集	2008年
宇土市教育委員会		
轟見塚-豊後県宇土市資料館整理報告	宇土市埋蔵文化財調査報告書 第30集	2008年
熊本大学埋蔵文化財研究室		
熊本大学埋蔵文化財調査年報 2006年度		2008年
熊本大学埋蔵文化財調査報告Ⅳ (1996・1997年度)	熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第4集	2008年
八代市教育委員会		
キリシタン寺跡跡・宮地蔵行寺遺跡-宮地町10号線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査Ⅰ	八代市文化財調査報告書 第36集	2008年
上置女木遺跡-新八代駅近辺公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査Ⅰ	八代市文化財調査報告書 第37集	2008年
天草市教育委員会 (熊本県天草市教育委員会)		
木山家文書 御用触写帳 第2巻	本港市古文書史料集	1997年
木山家文書 御用触写帳 第3巻	本港市古文書史料集	1998年
木山家文書 御用触写帳 第4巻	本港市古文書史料集	1999年
木山家文書 御用触写帳 第5巻	本港市古文書史料集	2000年
木山家文書 御用触写帳 第6巻	本港市古文書史料集	2001年
木山家文書 御用触写帳 第7巻	本港市古文書史料集	2002年
木山家文書 万葉集 第1巻	本港市古文書史料集	2003年
木山家文書 万葉集 第2巻	本港市古文書史料集	2004年
木山家文書 万葉集 第3巻	本港市古文書史料集	2005年
資原遺跡(平成6年度 市道井原～輪の海道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)	熊本県本港市文化財調査報告書 第7集	1996年
熊本北小学校プール跡調査報告書(平成年度 本港市文化北小学校プール改築事業に伴う埋蔵文化財調査報告書)	熊本県本港市文化財調査報告書 第8集	1998年
本港市埋蔵文化財調査報告書-本港市遺跡詳細分布調査	熊本県本港市文化財調査報告書 第9集	2000年
一尾見塚-熊本県天草郡五和村大字御子田所蔵縄文時代貝塚の調査	五和町史資料編(その1)	2000年
福見遺跡Ⅱ	倉田町文化財調査報告書 第3集(倉田町史編纂事業)	2005年
上本郷遺跡-熊谷平内町地区中山間地域総合整備事業(本町工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査	天草町文化財調査報告書 第1集	2003年
大矢遺跡	天草市文化財調査報告書 第3集	2007年
熊本県教育委員会		
神尾遺跡	熊本町文化財調査報告書 第7集	1996年
石川山古墳群Ⅱ	熊本町文化財調査報告書 第8集	1996年
宮内遺跡	熊本町文化財調査報告書 第9集	1998年
熊本市教育委員会		
下河原中島遺跡・平原遺跡-熊谷平内町地区中山間地域総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	熊本市文化財調査報告 第3集	2009年
熊本県教育委員会		
「山王遺跡」-山王遺跡第1次調査区発掘調査報告書		2009年
「二本木遺跡群Ⅱ」-二本木遺跡群第30次調査区発掘調査報告書		2009年
「大江遺跡群Ⅲ」-大江遺跡群第106次調査区発掘調査報告書		2009年
「二本木遺跡群Ⅳ」-二本木遺跡群第27次調査区発掘調査報告書		2009年
「熊本市埋蔵文化財調査年報 第10号」-平成18年度		2009年
「熊本市埋蔵文化財調査報告書 第10号」-平成19年度		2009年
「八ノ坪遺跡Ⅳ」		2009年
「池辺寺跡Ⅳ」-平成19年度発掘調査報告書		2009年
「大江遺跡群Ⅵ」-第97次・第106次調査区発掘調査報告書		2009年
熊本県立歴史民俗館		

[illegible]

修験道資料	九重町文化財調査報告 第32編	2008年
別府市		
別府の古い道 歴史散歩	別府史談会20周年記念 泉邸附アトリズム支援事業	2009年
日田市教育委員会		
昭和50年度 ガランダヤ墳群発掘調査概報		1985年
郷内西遺跡Ⅱ	日田市埋蔵文化財調査報告書 第82集	2007年
下田遺跡Ⅱ	日田市埋蔵文化財調査報告書 第83集	2008年
御園山遺跡Ⅱ	日田市埋蔵文化財調査報告書 第84集	2008年
日田基里千峰地区	日田市埋蔵文化財調査報告書 第85集	2008年
上井手遺跡3次	日田市埋蔵文化財調査報告書 第86集	2008年
筑前国遺跡Ⅱ（弥生・古墳時代遺物編）	日田市埋蔵文化財調査報告書 第87集	2008年
平成16年度（2006年度）日田市埋蔵文化財年報		2008年
平成19年度（2007年度）日田市埋蔵文化財年報		2008年
国東市教育委員会		
重要文化財 皇徳寺弘法 保存修理工事報告書		2008年
宮崎県		
宮崎県文化財課		
平成19年度 県内遺跡発掘調査概要報告書		2008年
宮崎県 指定古墳等再編活用事業報告書Ⅰ		2008年
都城教育委員会		
市内遺跡	都城市文化財調査報告書 第88集	2008年
大村市教育委員会	大村市文化財調査報告書 第31集	2008年
市内遺跡発掘調査概報 2		2008年
清武町教育委員会	清武町埋蔵文化財調査報告書 第24集	2008年
清武上郷ノ原遺跡 ⅠーⅡ	清武町埋蔵文化財調査報告書 第25集	2008年
清武上郷ノ原遺跡 Ⅲ		2008年
宮崎県埋蔵文化財センター		
大島田遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第178集	2008年
新ノ田村上第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第181集	2007年
南中原第1遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第182集	2007年
牧内第1遺跡（第一次～第三次）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第183集	2007年
明野遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第184集	2007年
赤木遺跡第8地点（第3次調査）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第185集	2008年
築城遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第186集	2008年
中ノ迫第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第187集	2008年
諸友遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第188集	2008年
城立第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第189集	2008年
市前上第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第190集	2008年
山之跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第191集	2008年
野宮第3遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第192集	2008年
宮ノ原遺跡（本文・図説・図版編・付図）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第193集	2008年
林遺跡Ⅱ	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第194集	2008年
曾井第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第195集	2008年
飯平遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第196集	2008年
川瀬川（第一次～第十次）DVI付	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第197集	2008年
南佐賀第1遺跡（二次）ー東九州自動車道（都城ー西都城）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第198集	2008年
南佐賀1号上郷遺跡（平成18年度文化庁発掘調査事業一第Ⅲ期）第22号下郷工区少田遺跡工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第199集		2008年
堀江田遺跡ー一般国道218号北方延岡道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第200集	2008年
赤木遺跡第8地点（第一次調査）ー一般国道218号北方延岡道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第201集	2008年
旭2丁遺跡ー宮崎県地方利権利用に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第202集	2008年
佐田遺跡/赤木遺跡ー国204号商業大内ファーマーメント敷地造成工事及び調整工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第203集		2008年
佐田遺跡（旧石田時代ー縄文時代版）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第204集	2008年
宮崎三ノ丸跡ー宮崎県長崎県共同発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第205集		2008年
小林市教育委員会		
市内遺跡発掘調査報告書	小林市文化財調査報告書 第2集	2008年
新富町教育委員会		
「国・道616号群、南原ベニガ工所跡、筑前国地下式6号、比良崎古墳群」	「新富町文化財調査報告書 第52集」	2009年
「平成30年度市内遺跡発掘調査概要報告書『町内遺跡』25」	「新富町文化財調査報告書 第53集」	2009年
「平成30年度田原町『新田原古墳群』史料整備に伴う発掘調査概要報告書『筑前国古墳群』32」	「新富町文化財調査報告書 第54集」	2009年
筑前国遺跡・春日遺跡（写真図説版）	新富町文化財調査報告書 第55集	2009年
春日遺跡8次調査	新富町文化財調査報告書 第56集	2009年
町内遺跡24	新富町文化財調査報告書 第57集	2009年
筑前国古墳群11	新富町文化財調査報告書 第58集	2009年
飯塚市教育委員会		
市内遺跡	飯塚市文化財調査報告書 第10集	2008年
飯塚市の文化財		2001年
木城町教育委員会	木城町文化財調査報告書 第10集	2008年
市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ		2008年
西郷市教育委員会		
寺崎遺跡ー西郷市立臺北小学校建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査一	西郷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第59集	2008年
市内遺跡発掘調査概要報告書一	西郷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第60集	2008年
家一稲遺跡・上芝遺跡・金子丸遺跡・石見遺跡・寺崎遺跡一	西郷市埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳー西郷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第61集	2008年
都都城跡発掘調査概要報告書Ⅱー都都城跡一	西郷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第62集	2008年
平成19年度 西郷県立墳墓群・年報 第24号一		2008年
日南市教育委員会		
平成15年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告書 第19集	2004年
平成16年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告書 第20集	2005年
平成17年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告書 第21集	2006年
平成18年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告書 第22集	2007年
平成19年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告書 第23集	2008年
宮崎市教育委員会		
郷第2遺跡ー地域自治体事務所建設に伴う築地区文化財発掘調査報告書一	宮崎市文化財調査報告書 第66集	2008年
史跡 鶴子城跡ー鶴子城跡保存整備に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書（Ⅱ）一	宮崎市文化財調査報告書 第67集	2008年
下北方3号墳遺跡一	宮崎市文化財調査報告書 第68集	2008年
山崎上ノ原第2遺跡群ー携帯電話用無線基地局建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	宮崎市文化財調査報告書 第69集	2008年
片瀬遺跡ー特別養護老人ホーム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	宮崎市文化財調査報告書 第70集	2008年
下北方3号墳遺跡跡一共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	宮崎市文化財調査報告書 第71集	2008年
城山第2遺跡ー宮崎市高岡町における2号花見工田建設（仮称）土地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一 宮崎市文化財調査報告書 第73集		2008年
きよた歴史館・清武町埋蔵文化財センター		
清武上郷ノ原遺跡 Ⅱー	清武町埋蔵文化財調査報告書 第36集	2009年

清武上陸ノ原遺跡 第3地区	清武町埋蔵文化財調査報告書 第27集	2009年
郡城市教育委員会		
八幡城遺跡	郡城市文化財調査報告書 第91集	2009年
向原第2遺跡 (第3次調査)	郡城市文化財調査報告書 第92集	2009年
吉田田遺跡 (第2次調査)	郡城市文化財調査報告書 第95集	2009年
高八重遺跡	郡城市文化財調査報告書 第96集	2009年
「市川遺跡2」	郡城市文化財調査報告書 第99集	2009年
北方町教育委員会		
北方町内遺跡6	北方町文化財報告書 第27集	2009年
上崎地区遺跡6	北方町文化財報告書 第28集	2009年
上崎地区遺跡6-概算農地保全整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書-	北方町文化財報告書 第36集	2006年
わが国の火山噴火防災における生活・文化環境の歴史		2008年
鹿児島県		
鹿児島市教育委員会		
北山平遺跡・河内遺跡・西ノ道遺跡・東島市川遺跡-一部地域総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(57)	2007年
武蔵跡C地点-ベジネスホテル建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(52)	2007年
北田平遺跡B地点-携帯電話無線中継基地局建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(53)	2007年
大蔵遺跡F地点-共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(54)	2007年
鹿児島市埋蔵文化財審議会調査報告書 清水城跡B地点・大蔵院跡(第5次)・大蔵遺跡(第9次)・玉利遺跡	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(55)	2007年
福昌寺跡-鹿児島市玉置中高一貫教育校整備事業に伴う第三次緊急発掘調査報告書-	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(56)	2008年
出水市教育委員会		
朝日岳遺跡-鹿児島県宮崎中山間地域総合整備事業 出水・大川内地区 上場農道に伴う発掘調査報告書-	出水市埋蔵文化財発掘調査報告書(19)	2008年
指宿市教育委員会		
新所後遺跡Ⅱ-株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ九州携帯電話無線基地局建設に伴う発掘調査報告書-	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書 第42集	2007年
敷島遺跡・成川遺跡・南瀬ノ浜遺跡・水迫遺跡-平成19年度市内遺跡発掘調査報告書-	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書 第43集	2008年
南川田遺跡Ⅱ-大山砂防事業南田田川に伴う発掘調査報告書-	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書 第44集	2008年
曽於市教育委員会		
嶋津遺跡-川大町H八幡地区整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	曽於市埋蔵文化財発掘調査報告書(7)	2008年
宮岡遺跡-概算中山間地域総合整備事業大隈坂元地区(辻場整備)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	曽於市埋蔵文化財発掘調査報告書(8)	2009年
さつま町教育委員会		
向井原遺跡-概算中山間地域総合整備事業(薩摩地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	鹿児島県薩摩郡さつま町埋蔵文化財発掘調査報告書②	2008年
宮原遺跡-概算中山間地域総合整備事業(薩摩地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	鹿児島県薩摩郡さつま町埋蔵文化財発掘調査報告書③	2009年
奄美市教育委員会		
「奄美市埋蔵文化財発掘報告書③-砂防事業災害対策特別緊急発掘調査-西ノ原遺跡」	奄美市埋蔵文化財発掘報告書③	2009年
鹿児島県立埋蔵文化財センター		
鹿本遺跡・和久地遺跡(大島郡喜望峯町)-特殊改良一種事業一般軌道寄附線跡改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (119)	2008年
阿波松遺跡(南さつま市金峰町)-中小河川改修事業(万之瀬川)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅱ)	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (120)	2007年
上米沢遺跡2 古墳時代から近世編(南さつま市金峰町)-中小河川改修事業(万之瀬川)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅲ)	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (121)	2008年
鹿島崎遺跡・元阿波松遺跡・神原遺跡・須賀田遺跡-豊玉岡発掘センター遺跡群V建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ-鹿児島県総合センター遺跡群V	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (122)	2008年
堂園遺跡B地点・堂園遺跡A地点(追加調査)(所在地 南九州市川辺町神鏡)-南薩網貫道(川辺遺跡)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅱ)-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (123)	2008年
西原遺跡・牧ノ原遺跡・原村Ⅰ遺跡・原村Ⅱ遺跡-一般軌道飯野松山郡城跡改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅱ)	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (124)	2008年
関山遺跡(曽於市末吉町)・島田川遺跡・ツナノ木遺跡(曽於市大隅町)-東九州自動車道建設(大隅IC～本吉財部IC間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (125)	2008年
関山遺跡(曽於市末吉町)-東九州自動車道建設(大隅IC～本吉財部IC間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (126)	2008年
唐屋遺跡・高古塚遺跡・曾志田遺跡・中之道遺跡-東九州自動車道建設(大隅IC～本吉財部IC間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (127)	2008年
仁田遺跡(鹿児島市)-南九州西回り自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 X V-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (128)	2008年
阿南遺跡(日南市東市来町)-南九州西回り自動車道鹿児島道路建設におこなう埋蔵文化財発掘調査報告書 X VI(伊集院IC～市来IC間)-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (129)	2008年
市ノ原遺跡(第4地点・第2地点)(鹿児島県日南市東市来町)-南九州西回り自動車道鹿児島道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(X XⅦ)-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (130)	2008年
南川田遺跡・原田遺跡(薩摩川内市)-南九州西回り自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 X XⅧ(市来IC～薩摩川内IC間)-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (131)	2008年
鷺ノ道遺跡(熊本県那覇市B地点)・北原中遺跡(C地点)・宇都上遺跡(F地点)(鹿児島市花岡町)-一般国道39号古江バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅱ)-	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (132)	2008年
沖縄県		
南風原古島遺跡	うるま市文化財調査報告書 第5集	2008年
国指定史跡 勝連城跡埋蔵文化財調査報告書Ⅳ	うるま市文化財調査報告書 第6集	2008年
北谷町教育委員会		
伊礼原遺跡-国緑集	北谷町文化財調査報告書 第25集	2006年
平成16年度 大規模停留車用地跡地等利用推進費 伊礼原C遺跡保全整備基本構想策定事業報告書		2005年
伊礼原C遺跡の語るもの-伊礼原B遺跡ほか出土遺物保存処理事業-		2004年

大分市埋蔵文化財調査報告書

2008年度

発 行 日

平成21年12月28日

編集・発行

大分市教育委員会文化財課

大分市荷揚町2番31号

〒870-8504 (097) 534-6111
